

^{NTT}
docomo

F-04K

arrows Be

取扱説明書 '18.5

はじめに

「F-04K」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。


操作説明

「クイックスタートガイド」(本体付属品)

各部の名称と機能について説明しています。

「取扱説明書」アプリ (eトリセツ) (本端末に搭載)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

〈操作手順〉ホーム画面で → 「取扱説明書」

初回起動時は、画面の指示に従って「取扱説明書」アプリをダウンロードする必要があります。

「取扱説明書」アプリを削除した場合には、PlayストアでGoogle Playのサイトにアクセスして再度インストールすることができます。

〈操作手順〉ホーム画面で「Play ストア」 → 「取扱説明書 F-04K」を検索して「取扱説明書」アプリを選択 → 「インストール」

「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

〈パソコンから〉 <https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/f04k/index.html>

※最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

- 本書においては、「F-04K」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は端末色が「White」、ホームアプリが「docomo LIVE UX」、きせかえが「White」の場合で説明しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で


以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。

◆ SMSを作成して送信

- 1 ホーム画面で→[メッセージ]
- 2 [新規作成]→携帯電話番号を入力→[確定]
 - 電話番号やふりがなを入力すると、電話帳で一致する連絡先が表示され、選択することができます。
- 3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

✓お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のおお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P51）が表示されます。通知パネル（→P52）を開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✓お知らせ

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレーションが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリの空き容量を増やしてください。→P103、P141

◆ 送受信したSMSの表示

1 ホーム画面で☰→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

- 選択した受信メールに迷惑メールの可能性がある場合、注意喚起のダイアログが表示されます。このダイアログ表示の有無は、[迷惑メール判定]（→P154）で変更できます。
- [発信] をタップして電話をかけることができます。

◆ SMSに返信

1 ホーム画面で☰→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ SMSを転送

1 ホーム画面で☰→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]

3 携帯電話番号を入力→[確定]→[送信]

- 電話番号やふりがなを入力すると、電話帳で一致する連絡先が表示され、選択することができます。

◆ SMSを削除

1 ホーム画面で☰→[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]→[削除]

✓お知らせ

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドをロングタッチ→[削除] → [削除] をタップします。
- すべてのメッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッド画面で [メニュー] → [すべてのスレッドを削除] → [削除] をタップします。

◆ SMSの設定

1 ホーム画面で☰→[メッセージ]→[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

SMSが有効：デフォルトのSMSアプリを変更します。

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。

テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。

バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。

受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。

SIMカードのメッセージ：ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

通知の設定：メッセージ受信時の通知方法について設定します。

メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。

• 通常は設定を行う必要はありません。

✓お知らせ

- SMSの設定画面で [メニュー] → [初期設定に戻す] をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

NX!メール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) や、一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

NX!メールをお使いになるには、Google Playからアプリをダウンロードする必要があります。

- SMSも利用することができます。

◆ Eメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で☰→[NX!メール]

2 [ドコモメール] / [GOOGLEアカウント] / [その他のアカウント] / [EXCHANGE アカウント]

以降は画面の指示に従って操作し、メールアドレスやパスワードなどを入力してメールアカウントの設定をしてください。

✓お知らせ

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、フォルダー一覧画面で [メニュー] → [設定] → [アカウント設定] → [新規アカウント追加] をタップして操作します。
- すでにExchangeアカウントが設定済みで、さらに別のExchangeアカウントを追加する場合は、フォルダー一覧画面で [メニュー] → [Exchange設定] → [アカウントを追加] をタップして操作します。

◆ Eメールを作成して送信

1 ホーム画面で☰→[NX!メール]

- フォルダ一覧画面が表示されます。
- フォルダを起動画面に設定 (→P85) している場合は、設定中のフォルダのメール一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]

- Exchangeアカウントとその他のアカウントを同時に設定している場合は、[EXCHANGEメールを作成] / [その他のメールを作成] をタップします。
- 複数のメールアカウントがある場合は、「差出人」欄をタップ→使用するメールアカウントをタップして切り替えます。

3 宛先欄にメールアドレスを入力

- 宛先を追加する場合は、宛先を入力した後に表示される宛先欄の下の欄に、メールアドレスを入力します。

4 件名欄に件名を入力

5 メッセージ入力欄にメッセージを入力

6 [送信]

✓お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

- サービスプロバイダによっては、「OP25B (Outbound Port 25 Blocking) : 迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

◆ Eメールの受信／表示

1 ホーム画面で☰→[NX!メール]

2 [メニュー]→[更新]

3 フォルダ一覧画面でフォルダを選択→Eメール一覧でEメールを選択

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示

2 [返信]

全員に返信 : [全員に返信]

3 メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを転送

1 Eメールを表示

2 [メニュー]→[転送]

3 メールアドレス／メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを削除

- 1 ホーム画面で**王**→[NX!メール]
- 2 フォルダー一覧画面でフォルダを選択→Eメール一覧で削除するEメールをロングタッチ→[削除]→[OK]

◆ フォルダー一覧画面の操作

1 フォルダー一覧画面を表示

フォルダ内のメール一覧画面を表示: メール一覧画面を表示したいフォルダをタップ

フォルダを新規作成: [フォルダ新規作成] → [電話帳のグループからフォルダを作成] / [自分で設定してフォルダを作成] → 項目を設定 → [完了]

フォルダを並べ替え: 並べ替えたいフォルダをロングタッチ→移動したい位置までドラッグ

フォルダを起動画面に設定: 起動画面に設定したいフォルダをロングタッチ→ [起動画面に設定]

- NX!メールを起動したときに、設定したフォルダ内のメール一覧が表示されます。
- 起動画面を解除したい場合は、起動画面に設定したフォルダをロングタッチ→ [起動画面を解除] をタップします。

作成したフォルダを編集: 編集したいフォルダをロングタッチ→ [編集] →フォルダの項目を設定→ [完了]

作成したフォルダを削除: 削除したいフォルダをロングタッチ→ [削除] → [OK]

メニューを表示: [メニュー]

メールの更新、アカウントの編集、Eメールのバックアップ/復元、メールの設定などの操作ができます。

◆ Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

◆ NX!メール全般の設定

1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

着信設定: メール着信時の動作を設定します。

アカウント設定: アカウントの追加や設定をします。
→P86

レイアウト変更: フォルダー一覧画面のレイアウトを設定します。

マーク: 受信メールに付けられるマークを設定します。

- マークは最大3個設定できます。

フォルダ表示: 保護/未分類/SMSフォルダを表示するかを設定します。

署名: 署名を設定します。

SMS: デフォルトで使用するSMSアプリを設定したり、SMS着信時の動作などを設定します。

その他: 返信時に引用を行う、返信画面で返信元メール/SMSの表示を行う、メール送信中画面の表示を行う、Eメールのバックアップ先の変更などの、NX!メールに関するその他の設定をします。

✓お知らせ

- [情報] をタップするとNX!メールのバージョンやメールの保存件数、使用ライセンスを確認できます。

❖NX!メールのアカウント設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

〈例〉IMAPのアカウントを設定する

1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[設定]→[アカウント設定]

アカウント一覧画面が表示されます。

2 IMAPのアカウントを選択→各項目を設定

表示アカウント名: アカウント名を編集します。

アイコン変更: アカウント名の横に表示されるアイコンを変更します。

送信メールの表示名: Eメールを送信した相手に表示される表示名を編集します。

既定の送信アドレス: チェックを付けたアカウントを、新規メール作成時にデフォルトで使用します。

受信間隔: Eメールの受信間隔を設定します。

メールアドレス編集: 通常は設定変更できません。

受信メールサーバー設定: 受信メールサーバーを設定します。

送信メールサーバー設定: 送信メールサーバーを設定します。

「全ての受信」に表示するフォルダ: 選択したフォルダのメールを「全ての受信」に表示するかを設定します。

返信先アドレス: 送信したアカウントとは別のメールアドレスに返信させたい場合に、返信先のメールアドレスを入力します。

新着通知の設定: メール受信時の通知方法について設定します。

送信時の文字コード: Eメールの文字コードを設定します。

✓お知らせ

- [受信間隔]に[プッシュ受信]を設定すると、電池の消費が早くなります。
- Eメールのアカウントを削除するには、アカウント一覧画面で削除するアカウントをロングタッチ→[削除]→[OK]をタップします。

❖Eメールのバックアップ/復元

■バックアップする場合

1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[メールをバックアップ/復元]

- Exchangeはバックアップ対象外の旨の確認画面が表示された場合は、[OK]をタップします。

2 [メールをバックアップ]→[vmg]/[eml]

3 バックアップ対象にチェック→[OK]→[OK]

■復元する場合

1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[メールをバックアップ/復元]

- Exchangeはバックアップ対象外の旨の確認画面が表示された場合は、[OK]をタップします。

2 [メールを復元]→アカウントを選択

3 復元先を選択→復元するデータにチェック→[OK]→[OK]

✓お知らせ

- バックアップ先は変更することができます。→P85

Gmail


Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailの表示

1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されません。

- Gmailの詳細については、をタップまたは画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
 - 音声通話中（VoLTEを利用した音声通話中を除く）
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。


◆ 緊急速報「エリアメール」の受信

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。


• 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示される
- 3 エリアメールの本文が表示される

❖ 受信したエリアメールを後で確認



- 1 ホーム画面で→[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

❖ エリアメールの削除

- 1 ホーム画面で→[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 削除するエリアメールを選択→[削除]→[OK]

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

- 1 ホーム画面で→[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 →[設定]
- 4 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。

着信音：専用ブザー音・専用着信音の鳴動時間や音量、マナーモード中でもブザー音・着信音を鳴らすかを設定します。

受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報／気象等特別警報のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。

やさしい日本語表示：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかを設定します。

翻訳・アプリ連携設定：受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかを設定します。

Chrome

「Chrome」アプリを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続で「Chrome」アプリを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P39）して見たい部分を表示します。

■ Webページの拡大／縮小

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

◆ Chromeを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で

ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→※

※ 開いているタブの数によって数字が異なります。

2

新しいタブが開き、Webページが表示されます。

切り替え：表示するタブをタップ

閉じる：閉じるタブの [X]



◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→

2 [新しいシークレット タブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中は画面上部にが表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→※→シークレットタブの [X] をタップします。
※ 開いているタブの数によって数字が異なります。

✓お知らせ

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→☰→[履歴]

2 Webサイトの履歴を選択

◆ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→☰→☆

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→☰→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

ブックマークの右の☰をタップすると、編集や削除などができます。

◆Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクを新しいタブで開いたり、アドレスやテキストのコピーやファイルのダウンロードなどができます。

1 Webサイト表示中にリンクをロングタッチ

2 メニューから目的の操作を選択

✓お知らせ

- ダウンロードしたファイルは、ファイルマネージャーやWebサイト表示中に☰→[ダウンロード]をタップして確認できます。

◆Webサイトの画像をダウンロード

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像をダウンロード]

- ダウンロードした画像は、アルバム-Scene (→P100) やWebサイト表示中に☰→[ダウンロード]をタップして確認できます。

◆ Webサイトの文字列をなぞってコピー

1 Webサイト表示中に画面右下隅のスライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて[なぞってコピー]領域で指を離す

2 文字列を指でなぞる

- 以降の操作は「なぞってコピー」をご覧ください。
→P56

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタやクラウドプリント機能を利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P169

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→☰→[共有...]→[印刷]

- 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P170

◆ Chromeの設定

検索エンジンやプライバシーなどの設定ができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→☰→[設定]

2 各項目を設定

Chromeにログイン：GoogleアカウントでChromeにログインします。

検索エンジン：Webページ検索するときに使用する検索エンジンを設定します。

自動入力とお支払い：自動入力の利用や、自動で使用する住所やクレジットカードの情報を設定します。

パスワードの保存：Webページに入力したパスワードを保存するかを設定します。

通知：新着通知の通知方法について設定します。

ホームページ：ホームページを設定します。

プライバシー：安全性や利便性についての設定をします。

ユーザー補助機能：文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。

サイトの設定：CookieやJavascriptなどサイトに開する設定をします。

データセーバー：データの使用量を抑えるようにするかを設定します。


Chromeについて：アプリのバージョンなど、Chromeに関する情報を確認できます。

カメラ

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています。常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがあります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーにが表示されます。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでご注意ください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでご注意ください。

なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

① フォーカス枠

- 顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせてフォーカス枠を表示します。顔が検出された場合は、顔に自動的にフォーカスを合わせて顔検出枠を表示します。


② インジケータ

- 現在の撮影モードが静止画撮影（左）／動画撮影（右）かを示します。

③ メニューアイコン

- 動画の録画中は表示されません。

④ 直前に撮影した静止画／動画

- タップして撮影した静止画や動画を確認できます。カメラ再起動後は枠のみの表示となりますが、タップして撮影した静止画や動画を表示できます。表示したデータの  をタップして「アルバム-Scene」（→P100）の画像一覧画面を表示できます。

⑤ シャッターボタン

⑥ カメラ切替

- アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

⑦ 録画開始ボタン

✓お知らせ

- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[いいえ] / [切り替え] をタップします。
- 空き容量が少なくなると、静止画撮影時は撮影可能残り枚数、動画撮影時は撮影可能残り時間が撮影画面に表示されます。

◆ 静止画撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

静止画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→

- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- 音量キーの下を押しても、静止画を撮影できます。

■ 静止画撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチアウト／ピンチイン

- ピンチアウト／ピンチインするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：撮影画面で /

動画撮影画面への切り替え：撮影画面を左へフリック

- 動画の撮影画面を右へフリックすると、静止画撮影画面に戻ります。

◆ 連写撮影

最大100枚までの連写撮影ができます。



- 連写撮影モードは、インカメラでの撮影、フラッシュやセルフタイマーの設定には対応していません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[連写]

連写撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→をロングタッチ

を押している間は連写・保存し続けます。から指を離すと連写が終了します。

- 音量キーの下を押したままにしても、連写撮影ができます。

■ 連写撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチアウト／ピンチイン

- ピンチアウト／ピンチインするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。

動画撮影画面への切り替え：撮影画面を左へフリック

- 切り替えた動画撮影画面を右へフリックすると、静止画撮影画面が表示されます。

✓お知らせ

- 保存先の空き容量が足りなくなると、連写は停止します。
- 連写撮影モードでは、撮影サイズ (3M 2048X1536 / FullHD 1920X1080 / ケータイメール 640X480)、位置情報、保存先、タッチ シャッター、グリッド表示、露出/WB調整を設定できます。→P95

◆ パノラマ撮影

カメラを左右にゆっくりと動かすことで、パノラマ写真を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[パノラマ]

3 撮影画面に被写体を表示→ (開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影時にカメラを動かす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

4 (完了)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止してパノラマ画像が保存されます。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できません。
- カメラを動かし続けて撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

■ パノラマ撮影画面の主な操作

パノラマ撮影画面を閉じる：(戻る)

- パノラマ撮影に設定する前の撮影モードに戻ります。

◆ 静止画のオート撮影機能

次の静止画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して撮影できます。

- 手ぶれ補正機能は常にONの状態です。

■ おまかせオートフォーカス

被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。顔が検出できない場合は、画面中央にピントを合わせます。

■ タッチオートフォーカス

撮影画面の被写体にタップして自動的にピントを合わせます。[タッチシャッター]をONに設定している場合はピントが合うと、オートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影します。→P96

- タッチオートフォーカスはインカメラには対応していません。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- 撮影画面にQRコードを表示させた場合は、QRコードを読み取って結果を表示します。

■ 自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体をタップして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先できます。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 静止画の撮影設定

静止画撮影画面に表示されている[MENU]をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。
- ホーム画面、アプリ一覧画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画/連写/動画/ハイスピード動画/パノラマ/ライブオートズーム/QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- 電話帳など他のアプリからカメラを連携して起動すると、一時的に撮影サイズが「画面びったり 1920×1080」に変更される場合があります。

■ フラッシュ

フラッシュの設定を、オートで点灯 (🔦) / 点灯する (🔦) / 点灯しない (🚫) から選択できます。オートで点灯に設定すると、暗い場所と判断された場合に自動的にフラッシュが点灯します。

- 点灯する (🔦) の場合は、静止画撮影画面にアイコンが常時表示されます。オートで点灯 (🔦) または点灯しない (🚫) の場合は、暗い場所と判断されたとき静止画撮影画面にアイコンが表示されます。表示されたアイコンをタップすると設定を変更できます。
- 「連写」を設定した場合はフラッシュを設定できません。また、夜景のシーンによっては、点灯しない場合があります。

■ セルフタイマー

シャッター操作をしてから2秒後 (🕒2)、3秒後 (🕒3)、5秒後 (🕒5) に撮影されるように設定できます。

■ グリッド表示

写真の構図を決める補助として、撮影画面の補助線（グリッド）の表示を設定します。

■ その他

位置情報：撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中（未取得）は📍、取得すると📍のアイコンが撮影画面に表示されます。

保存先：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（連写撮影中は除く）。

タッチ シャッター：撮影画面の被写体にタップして、ピントが合うとオートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影するように設定します。

- 連写モードの場合は1枚だけ撮影します。

露出／WB調整：撮影画面の露出補正 (🔧) / ホワイトバランス調整 (WB) アイコンの表示を設定します。

美肌補正：ON (👍) にすると撮影画面に👍が表示され、タップして美肌効果（0～8）を調整できます。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面を左にフリック

動画撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→🎤(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 ●(停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できません。
- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ(約4GB)になった場合には録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止します。

■ 動画撮影画面の主な操作

録画中の静止画撮影：録画中に表示される ●

- 録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

ズーム：画面をピンチアウト/ピンチイン

- ピンチアウト/ピンチインするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。
- 録画中もズーム機能を利用できます。

インカメラ/アウトカメラの切り替え：撮影画面で ●/●

静止画撮影画面への切り替え：撮影画面を右へフリック

◆ ハイスピード動画撮影

撮影モードを「ハイスピード動画」で撮影すると、スポーツなど動きのあるシーンを部分的にスロー映像で再生するように編集できます。

- ハイスピード動画の撮影サイズは、「HD」(1280×720)となり変更できません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[ハイスピード動画]

3 撮影画面に被写体を表示→●(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの下を押しても、撮影を開始できません。

4 ●(停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止して保存されます。

- 音量キーの下を押しても、撮影を停止できません。

■ ハイスピード動画撮影画面の主な操作

動画撮影画面への切り替え：撮影画面を左へフリック

- 切り替えた動画撮影画面を右へフリックすると、静止画撮影画面が表示されます。

◆ ライブオートズーム撮影

撮影画面で狙った被写体をタップすると、被写体をズームして画面中央に配置した状態の動画が撮影できます。

- ライブオートズームでの撮影サイズは、「FullHD」(1920×1080)となり変更できません。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[ライブオートズーム]
動画撮影画面が表示されます。

3 ズームする被写体をタップ

被写体に丸い白色のフォーカス枠が表示され、被写体をズームします。

- 被写体選択後は、画面をピンチアウト/ピンチインして拡大/縮小ができます。

4 (開始)

撮影を開始します。

- 被写体が撮影画面の中央から多少ずれた場合も、しばらくすると白いフォーカス枠がズームした状態で被写体を撮影画面の中央にとらえ直します。
- ズームしている被写体が撮影画面から外れた場合、フォーカス枠が赤色に変わり画面はズーム前の状態に戻ります。再び被写体を撮影画面にとらえると、被写体はズームされ画面中央へ配置されます。

5 (停止)

撮影が停止して保存されます。

◆ 動画のオート撮影機能

次の動画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して録画できます。

- 録画音声は常にONの状態です。

■ オートフォーカス

録画前や録画中に画面中央にピント合わせを行います。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 動画の撮影設定

動画撮影画面に表示されている [MENU] をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／連写／動画／ハイスピード動画／パノラマ／ライブオートズーム／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ ライト

暗い所で録画する際に、撮影ライトを点灯するかを設定します。

■ 手ぶれ補正（ハイスピード動画・ライブオートズーム撮影は非対応）

手ぶれ補正機能を利用するかを設定します。

- 手ぶれ補正機能を有効にすると撮影範囲が狭くなります。

■ 保存先

録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（ただし、動画撮影中は録画を停止します）。

■ 露出／WB調整（ライブオートズーム撮影は非対応）

撮影画面の露出補正 (☒) / ホワイトバランス調整 (WB) アイコンの表示を設定します。

■ 美肌補正（ライブオートズーム撮影は非対応）

アウトカメラの状態を設定できます。設定メニューでON (👉) にすると撮影画面に👉が表示され、タップして美肌効果（0～8）を調整できます。

◆ QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖ QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [MENU]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

QRコード撮影画面を閉じる：[←]

- QRコードの読み取りに設定する前の撮影モードに戻ります。

ライトの点灯/消灯：[メニュー] → [ライト ON]
/ [ライト OFF]

4 読み取りデータを確認

データの保存：読み取り結果画面で [メニュー] → [履歴を保存] → 履歴欄をタップ

履歴の表示：QRコード撮影画面で [メニュー] → [履歴] → 履歴を選択

❖ QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録：[メニュー] → [電話帳一括登録] → 電話帳を登録

メールの作成：メールアドレスを選択→メールを作成
サイトまたはホームページに接続：URLを選択

電話をかける：電話番号を選択→

アルバム-Scene

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ただし、ファイルによっては表示／再生できない場合があります。

静止画：JPEG、BMP、GIF*、PNG、WEBP

動画：H.263、H.264、H.265、MPEG-4、VP8、VP9

※ GIFアニメーションは再生できません。

- GooglePlayで公開されているリプレックス社の「Scene」とは一部アプリケーションの仕様が異なります。

◆ 静止画表示／動画再生

1 ホーム画面で[アルバム-Scene]

画像一覧画面が表示されます。

2 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチアウト／ピンチインで拡大／縮小します。
- 動画は🔍をタップして再生します。音量キーを押して音量を調節したり、表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

■ 主なアイコンと機能

☰※1：各種設定、ヘルプ、Sceneについての情報を表示

🏠※2：アップデートや共有アルバムへのコメント、写真追加などのお知らせを表示

✉️：写真の送信、削除などの各種操作

📄：一覧に表示する写真、動画の選択

📷：カメラの起動

- 表示中の画面や操作状態により、表示される項目は異なります。

※1 画面左端から右へスライドしても表示できます。

※2 画面右端から左へスライドしても表示できます。

❖ 画像を分類して表示

画像をアルバムで分類できます。

1 画像一覧画面で🔍→[整理モード]

分類画面が表示されます。

2 画像をロングタッチ→アルバムにドラッグ

複数の画像を分類：複数の画像を選択→画像をロングタッチ→アルバムにドラッグ

- 日付をタップすると、タップした日付に撮影した画像を一括選択できます。
- 画像が選択状態のときは画像にチェックが付き、画面上部に選択件数が表示されます。再度画像をタップすると、選択状態が解除されます。

アルバムを追加：[新規アルバム作成] →アルバム名を入力→[OK]

✓お知らせ

- 画像一覧画面で画面中央から右へスライドしても分類画面が表示できます。

❖ ハイスピード動画の編集

撮影したハイスピード動画でスロー再生にする範囲を編集します。

- スロー再生に設定された範囲は、再生スピードが通常の1/4となるため音声は再生されず映像のみの再生となります。

1 ホーム画面で[アルバム-Scene]

画像一覧画面が表示されます。

- ハイスピード動画にはが表示されています。

2 ハイスピード動画を選択



ハイスピード動画再生画面が表示されます。

3 ハイスピード動画再生画面で

編集画面が表示されます。


- 「スライドでスロー動画編集」の説明画面が表示された場合は、[OK] をタップして編集画面を表示します。

4 / でスロー再生する範囲を選択

-  (再生開始位置) を移動して  (再生) をタップすると、編集効果を確認できます。

5 [保存]

別の動画ファイルとして保存されます。

- 保存後の動画ファイルには一覧画面では表示されません。

✓お知らせ

- 本端末が熱などでレスポンスが悪くなった状態で撮影した一定のフレームレートに満たないハイスピード動画では、編集ができない場合があります。

アプリ

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

「Chrome」アプリが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✓お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。


<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Playストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→【ヘルプとフィードバック】をタップしてヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ アプリのインストール

- 1 ホーム画面で[Play ストア]
Google Play画面が表示されます。
- 2 アプリを検索→アプリを選択
- 3 [インストール](無料アプリの場合)／[金額](有料アプリの場合)
 - アプリによって表示される内容は異なります。
 - アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で「同意する」をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うこととなります。
 - 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。
 - 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。
- 4 ダウンロードの進捗状況を確認
インストールが完了すると、ステータスバーにが表示されます。

✓お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLC が提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助アプリは、ユーザー補助から有効にすることができます。→P151

◆ Google Playのアプリの削除

- 1 Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[マイアプリ&ゲーム]→[インストール済み]
- 2 アプリを選択

3 [アンインストール]→[OK]

- 有料アプリで [払い戻し] が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内、ドコモnanoUIMカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

◆おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ^{※1}およびドコモnanoUIMカード内データ^{※2}が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや差し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

※2 ドコモnanoUIMカードに保存されたデータ

- 機種変更前のドコモnanoUIMカードを引き続き使う場合でも、ドコモnanoUIMカード内データを利用するおサイフケータイ対応サービスの利用には、おサイフケータイ対応サービス提供者のアプリのインストールおよび設定が必要です。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データおよびドコモnanoUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時の利用停止などの対応方法については、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイアプリよりサービスを設定してください。

1 ホーム画面で☰→【おサイフケータイ】

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 サービスを選択

3 サービスに関する設定を行う






- サービスのサイトまたはアプリから必要な設定を行います。

4 マークを読み取り機にかざす

✓お知らせ



- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P136、P132
- インストールしているおサイフケータイ対応のアプリやその設定状態によっては、画面ロック中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

◆「かざしてリンク対応サービス」の利用

- 1 ホーム画面で→[設定]→[機器接続]→[NFC／おサイフケータイ 設定]
 - NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。
 - [NFC／おサイフケータイ ロック] にチェックが付いている場合は、チェックを外します。
 - ホーム画面で→ [おサイフケータイ] →/をタップしても「NFC／おサイフケータイ 設定」の画面を表示できます。
- 2 [Reader／Writer, P2P]にチェック
- 3 NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどにマークをかざす
 - このほかにもAndroidビームを利用した端末同士の情報交換ができます。→P168

◆NFC／おサイフケータイ タイプ設定


利用するNFC Typeを選択します。

- 1 ホーム画面で→[おサイフケータイ]
- 2 →[NFC Type設定]
- 3 [FeliCa / Type A / Type B(標準)]／[FeliCa / Type A]／[FeliCa / Type B]

◆タップ&ペイ

おサイフケータイ対応サービスなど、読み取り機にかざして利用できるサービスの有効・無効の設定ができます。

- タップ&ペイの詳細については、タップ&ペイ画面で [メニュー] → [ヘルプ] をタップしてヘルプをご覧ください。

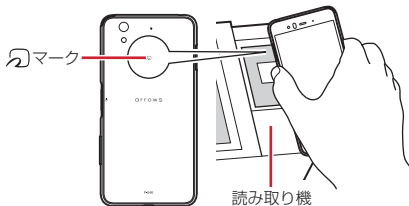
- 1 ホーム画面で→[設定]→[機器接続]
- 2 [NFC／おサイフケータイ 設定]→[タップ&ペイ]
タップ&ペイ画面が表示されます。

✓お知らせ

- 非常用節電モードの設定／解除を行うと、おサイフケータイ対応サービスの有効・無効設定が変更される場合があります。
非常用節電モードの設定／解除後に、おサイフケータイ対応サービスをご利用される場合はタップ&ペイでの設定を確認の上、読み取り機にかざしてください。→P41

◆ 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。



- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

ロックして、おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で☰→[おサイフケータイ]

2



- NFC／おサイフケータイ ロック設定のパスワード設定画面が表示された場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

3 [NFC／おサイフケータイ ロック]→認証操作

指紋認証の利用：[指紋認証を利用する] → 認証操作



- 指紋認証を利用するには、あらかじめ指紋を登録してセキュリティ解除方法を [指紋認証] に設定する必要があります。→P147

✓お知らせ-----

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーにまたはが表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。

- NFC／おサイフケータイ ロックの解除は、NFC／おサイフケータイ ロックの設定を行った際に取り付けていたドコモnanoUIMカードを本端末に取り付けた状態で行ってください。

◆ ロックの解除

- 1 ホーム画面で→【おサイフケータイ】
- 2 
- 3 【NFC／おサイフケータイ ロック】→認証操作

◆ iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。カード情報は2種類まで登録できるので、特典などに応じて使い分けることもできます。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 海外でiDアプリの設定・確認を行う場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページ（<http://id-credit.com/>）をご覧ください。

◆ トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メールやウェブダウンロードで取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

✓お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。更新、トルカの共有、地図表示
- 本端末のバッテリーセーバーやデータセーバーの設定にかかわらず、トルカアプリはトルカ取得に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。→P136、P132

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

- 「ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページでご確認ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

◆ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

◆ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

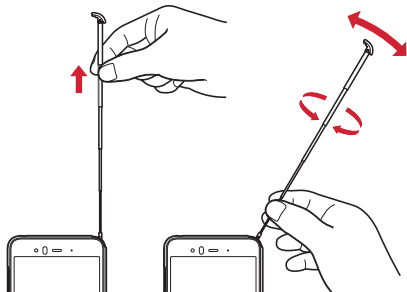
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。

■ ワンセグアンテナについて

ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナが放送電波を受信します。

- ワンセグアンテナを引き出すときは、最後までしっかりと引き出してください。
- ワンセグアンテナの方向を変えるときはワンセグアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。



- ワンセグアンテナを収納するときはワンセグアンテナの根元近くを持って止まるまで入れます。先端を持って収納しないでください。

◆ ワンセグの起動


1 ホーム画面で**⇨**[ワンセグ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P113

ワンセグの終了:  (バック)

✓お知らせ-----

- 起動するときや、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は6%です（充電中は電池残量に関わらず、起動や動作の継続ができます）。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 受信状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。
- ワンセグ視聴時にホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合などには、ワンセグの音声出力が続きます。ワンセグのバックグラウンド再生を終了するにはワンセグ視聴画面に戻り、 (バック) をタップしてください。
- [動画補正] にチェックを付けると、ワンセグ視聴時に動画補正エンジンを使用して視聴できます。→P137
- ワンセグ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットやキャプメモ/なぞってコピーは実行できません。

❖ワンセグ視聴画面について



ワンセグ視聴画面

① 操作エリア

- メニューアイコン (☰)、ワンセグ画面の横画面表示アイコン (◻)、ピクチャーインピクチャーへの縮小表示切り替えアイコン (◻) が表示されます。

② テレビ視聴エリア

- 左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

③ 字幕・データ放送エリア

- 字幕／データ放送が表示されます。データ放送内の操作をする場合は、画面をタッチ操作するか、データ放送エリア下部に表示される操作アイコンをタップして行ってください。

④ チャンネル情報エリア

- チャンネル名、テレビの電波強度、番組名が表示されます。

⑤ ナビゲーションバー

⑥ コントローラー

◀/▶: チャンネルを切り替え (ロングタッチでチャンネルサーチ)

☰: チャンネル一覧をポップアップ表示

- チャンネルサーチで未登録の放送局が見つかったときは、チャンネル一覧を表示→空きチャンネルをロングタッチ→ [はい] をタップすると、チャンネル一覧に追加できます。
- 視聴中の放送局のチャンネルを追加登録する場合は、チャンネル一覧を表示→チャンネルをロングタッチ→ [チャンネル上書き登録] *→ [はい] をタップします。

* 空きチャンネルをロングタッチした場合は、本操作は必要ありません。

- チャンネル一覧から放送局を削除するには、チャンネル一覧を表示→登録済みのチャンネルをロングタッチ→ [チャンネル削除] → [はい] をタップします。

✓お知らせ-----

- ワンセグ視聴画面で音量キーを押すと、音量を調節できます。
- 横画面では全画面表示となります。画面をタップすると操作エリア、チャンネル情報エリア、コントローラー、ナビゲーションバーが表示されます。


◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。



❖ テレビリンクの登録

- 1 データ放送領域でテレビリンク登録可能な項目を選択
 - テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

❖ テレビリンクの表示



- 1 ワンセグ視聴画面で→[テレビリンク]→テレビリンクを選択→[はい]
登録されたサイトに接続します。

❖ テレビリンクの削除

- 1 ワンセグ視聴画面で→[テレビリンク]
- 2 テレビリンクをロングタッチ→[削除]→[はい]
テレビリンクをすべて削除：→[全件削除]→[はい]

◆ 視聴予約

テレビ番組の視聴の予約ができます。


- 1 ワンセグ視聴画面で→[視聴予約]
予約一覧が表示されます。
- 2 →[新規予約]
- 3 [番組表から]／[視聴予約]
 - [番組表から]を選択した場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 4 各項目を設定→[保存]→[はい]
 - ユーザーやゲストが利用できる機能に関する確認画面が表示された場合は、[OK]をタップしてください。[次回以降表示しない]にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

✓お知らせ-----

- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。
- 操作3で[番組表から]を選択したときにアプリの更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ゲストや追加したユーザーが利用しているときは視聴予約を使用できません。また、所有者以外に切り替えたまま視聴予約時刻になると、予約が実行されません。

❖ 予約内容の確認

予約内容の確認をします。

- 1 ワンセグ視聴画面で→[視聴予約]
予約一覧が表示されます。

2 予約項目をタップ

- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→[編集]をタップすると、予約内容を編集できます。
- 予約一覧画面で予約をロングタッチ→[削除]→[はい]をタップすると予約を1件削除できます。

❖ 予約失敗結果の確認

予約が失敗した場合に予約結果の詳細を確認します。

1 ワンセグ視聴画面で→[視聴予約]→→[予約失敗一覧]

予約失敗一覧が表示されます。

2 予約結果項目をタップ

- 予約失敗一覧画面で予約結果をロングタッチ→[削除]→[はい]をタップすると予約結果を1件削除できます。


◆ ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面で→[設定]

2 各項目を設定

データ放送設定：データ放送を表示したときの各種設定（位置情報利用設定、端末情報利用設定、放送局メモリー削除、郵便番号設定）を行います。

オフタイマー：テレビをオフにするまでの時間（OFF/10分/30分/60分/90分/120分）を設定します。

ホームアイコンタップ時の動作：視聴中に（ホーム）をタップしたときの動作を設定（[音声だけを聴く] / [ピクチャーインピクチャーで視聴]）します。

ご利用にあたって：ご利用にあたっての情報を表示します。

❖ 字幕／音声／映像の設定

1 ワンセグ視聴画面で→[字幕表示]をタップしてオン／オフを設定

- 横画面表示中には[字幕表示位置]が表示され、字幕の表示位置を設定できます。
- 視聴中の番組が対応している場合は、[音声種別][音声言語][字幕言語][映像切替]も表示され設定できます。

◆ チャンネル設定

❖ チャンネルリストの作成


1 ワンセグ視聴画面で→[エリア切替]

2 未登録の項目をロングタッチ→[エリア情報設定]→地方、都道府県、地域を選択

3 [OK]

❖ チャンネルリストの切り替え

1 ワンセグ視聴画面で→[エリア切替]→チャンネルリストを選択

- 現在使用しているチャンネルリストは、右側にが表示されます。

ララしあコネクト

本端末で測定・入力した歩数、心拍数、睡眠時間、ストレス度などのデータを元に、「Lalasia」サイトと連携して健康管理を行うことができます。

1 ホーム画面で→[ララしあコネクト]

ログイン画面が表示されます。


- ホーム画面の歩数計のウィジェットをタップしても起動できます。
- 初回起動時は「Lalasia」へのログイン画面が表示されます。「ログイン」をタップして画面に従ってログインします。Googleアカウントなどでログインできます。

2 [ログイン]

計測初期画面が表示されます。


- ログイン画面で「ログインしないで使う」をタップすると、歩数や心拍数の計測などが一部使えます。

3 各データを計測・入力

- 🏠: 歩数、心拍数、睡眠時間、ストレス度などを計測
- 歩数計を利用する場合は、ホーム画面で→「便利機能」→「歩数計」→「歩数計利用」をタップして、ONになっていることをご確認ください。
- 📅: 計測データを蓄積して、同年代の利用者内でのランキングを表示
- 👤: 生年月日などの基礎データを入力

✓お知らせ

- 「ログインしないで使う」で計測・入力したデータは、正式なログイン後にも引き継がれます。

- その他の機能や操作などについては、をタップして「ヘルプ・よくある問い合わせ」などをご覧ください。

HF Player

内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽コンテンツを再生します。

- HF Playerで再生可能なファイル形式／コーデックはWAV、AIFF、FLAC、ALAC、DSF、DSDIFF、MP3、AAC、Ogg-Vorbisです。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- 本端末は、ハイレゾ音源の再生に対応しています。再生可能なファイルはサンプリング周波数44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz、量子化ビット数24bit、チャンネル数2chのFLAC、PCM、AIFF、ALACです。また、サンプリング周波数2.8MHz、5.6MHz、11.2MHzのチャンネル数2chのDSDファイルは、PCMに変換されて再生されます。
- ハイレゾ音源を再生する場合は、ハイレゾに対応したイヤホンステレオイヤホン端子に接続して、本端末内やmicroSDカード内のファイルを再生してください。スピーカーやBluetoothヘッドセットなどを使用すると、ハイレゾ品質で再生されません。また、他の音が鳴っている場合など、使用状況によってはハイレゾ品質で再生されないことがあります。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「本端末のデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P169

◆ 音楽の再生

1 ホーム画面で[HF Player]

2 タブを選択

タブごと（フォルダ／プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ジャンル／コンピレーション／作曲家／フォーマット）の一覧画面が表示されます。

3 曲を選択

再生画面が表示されます。

■ 再生画面について



音楽の再生画面

① 一覧画面の表示

② アルバムアートワーク

- タップするとファイルフォーマットや作曲家名などの曲情報の表示／非表示を切り替えます。

③ 再生位置、再生時間

- バーを左右にドラッグして再生位置を変更します。

④ 歌詞を表示

- 歌詞を表示して右上の **A** をタップして文字の大きさを変更できます。また、左上の **P** をタップすると曲に合わせて歌詞を追尾する機能を利用できます。

⑤ 曲名・アーティスト名・アルバム名

⑥ リピート

- タップするたびに、リピートオフ (**OFF**) → 1曲リピート (**1**) → 全曲リピート (**ALL**) を切り替えます。

⑦ 再生の操作

- ||** / **▶** : 一時停止／再生
- ◀** / **▶▶** : 前のファイル／次のファイルを再生
- 操作状態によっては、ファイルの先頭に戻ります。

⑧ 音量調節

- 左右にドラッグして音量を調節します。

⑨ 設定メニューの表示

⑩ 再生予定曲の表示

- [キュー編集] をタップすると、**+** をタップして一覧からの削除、**-** を上下にドラッグして再生順の入れ替えができます。
- [プレイリストに保存] をタップすると、再生予定の曲が新規プレイリストとして保存できます。

⑪ イコライザーのコントロール

- イコライザーをオン (⑭の **ON**) をタップして (**EQ**) にして **EQ** をタップすると、[Preset EQ] / [Featured EQ] からイコライザーの種類を選択したり、音質を調節したりできます。

⑫ プレイリストに追加

⑬ シャッフルのON/OFF

⑭ イコライザーのON/OFF


✓お知らせ

- 音楽を削除するには、アーティスト／アルバム／曲のタブを選択して一覧画面を表示し、曲名やアルバム名をロングタッチ→[削除] → [OK] をタップします。

◆ dミュージックなどからの購入

dミュージックやe-onkyo musicに接続して楽曲やアルバムの購入・ダウンロードができます。

1 ホーム画面で[HF Player]

2  → [dミュージックを開く] / [e-onkyo musicを開く]

◆ プレイリストの利用

プレイリストに曲を登録して、お気に入りの曲だけを再生することができます。

1 ホーム画面で[HF Player]→[プレイリスト]

プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 [新規]→[新規プレイリスト]→プレイリスト名を入力→[OK]

3 [曲を追加]

一覧画面が表示されます。



4 リストに追加する曲を選択→[保存]

- 一覧画面でタブを選択して曲名にチェックを付けたり、アーティスト名やアルバム名にチェックを付けたりして選択します。アーティスト名やアルバム名をタップして追加する曲名だけを選択することもできます。

5 [完了]

作成したプレイリスト画面が表示されます。

✓お知らせ

- プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→曲を選択すると再生できます。
- プレイリストを並べ替えるには、プレイリスト一覧画面で[編集] →移動するプレイリストのを上下にドラッグ→[完了] をタップします。
- プレイリストを削除するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストをロングタッチ→[削除] → [OK] をタップします。
- プレイリストを編集するには、プレイリスト一覧画面でプレイリストを選択→[編集] をタップします。
- プレイリストから曲を削除するには、プレイリストの曲一覧画面で削除する曲をロングタッチ→[削除] → [OK] をタップします。
- 曲の再生順を変更するには、プレイリストの曲一覧画面で[編集] →移動する曲のを上下にドラッグします。

位置情報・GPS

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されており、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、GPSアンテナ（→P31）の付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 電子コンパス利用時の留意事項

本端末は、電子コンパスを内蔵しており、地球の微弱な磁場を感知して方位を算出することができます。

- 電子コンパスは地球の微弱な磁場を感知して方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベータなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感知できなかったり、正確に方位を表示できなかったりする場合があります。
- 「マップ」アプリなどで、正しく方位を測定できない場合は、電子コンパスを調整してください。

◆ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

「マップ」アプリなど電子コンパスを利用するアプリを使用中に、本端末を大きく「8」の字を描くように手首を返しながら約10秒動かします。

◆ 位置情報の設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

1 ホーム画面で → [設定] → [セキュリティと位置情報] → [位置情報]

2 画面右上のボタンをタップして[位置情報]をONにする

ユーザーの同意画面が表示されます。

3 [同意する]

4 [モード] → モードを選択

✓お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ Googleマップ

Googleマップ™で現在地の測位や場所の検索、経路の検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE/3G/GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ[位置情報]をONにしてください。→P118
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

1 ホーム画面で[Google] → [マップ]

- Googleマップの操作については、画面の左端を右にフリックして、ヘルプや便利な使い方などをご覧ください。
- 現在地の測位で位置情報の設定や精度を変更する旨の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[スケジュール]

カレンダー画面が表示されます。

- クラウドサービスの利用画面が表示された場合は、[クラウドサービスを設定する] または [後で設定する] をタップします。

◆ スケジュールの登録


1 カレンダー画面で

- [+]入力オプションを表示 をタップすると、アラームなどを設定できます。

2 各項目を設定→[保存]

スケジュールが登録されます。

❖ 通知の日時になると

スケジュールの登録時にアラームの設定をすると、設定した日時にステータスバーにが表示されてお知らせします。

1 通知パネルを開く→通知をタップ

詳細画面が表示されます。


◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。



1 カレンダー画面で日付をタップ→スケジュールをタップ

2 スケジュールを確認

スケジュールの編集: [編集] →スケジュールを編集 → [保存]


スケジュールの削除:  → [1件削除] → [削除する]

✓お知らせ-----

- カレンダー画面でをタップすると、設定などのさまざまな操作ができます。
- カレンダー画面でをタップすると、日付移動などのさまざまな操作ができます。

時計


アラーム、時計、タイマー、ストップウォッチ、世界時計が利用できます。

- アラーム画面／時計画面／タイマー画面／ストップウォッチ画面で→[設定]をタップすると、時計の設定ができます。






◆ 時計を表示

- 1 ホーム画面で→[時計]
時計画面が表示されます。

✓お知らせ

- 時計画面に世界時計を表示する場合は、時計画面で→都市にチェックを付けます。


◆ アラームの利用

- 1 ホーム画面で→[時計]
- 2 [アラーム]
アラーム画面が表示されます。
- 3 →時刻を設定→[OK]
- 4 各項目を設定
/ : 作成した時刻のアラームのON/OFFを設定します。
繰り返し: 繰り返しを設定します。
: アラーム音を設定します。



バイブレーション: バイブレーションのON/OFFを設定します。

ラベル: ラベルを入力します。






: 作成中のアラームを削除します。

: アラームが鳴動するまでの時間が2時間以内の場合に表示され、アラームを解除します。


✓お知らせ

- アラームの一覧でアラームを削除する場合は、削除するアラームの→をタップします。
- アラームを削除した直後に画面右下に表示される[元に戻す]をタップすると、元に戻すことができます。

◆ タイマーの利用

- 1 ホーム画面で→[時計]
- 2 [タイマー]
タイマー画面が表示されます。
- 3 時間を入力→
カウントダウンが開始されます。
- 4 カウントダウンが終了したら[停止]／[1分追加]／
カウントダウンを一時停止: カウントダウン中に
• カウントダウンを再開する場合はをタップします。
カウントダウンをリセット: カウントダウン停止中に[リセット]
タイマーを削除: [削除]


タイマーを追加：[タイマーを追加] → 時間を入力 →

-  タイマー画面を上下にスライドすると他のタイマーを表示できます。

時間を1分追加：カウントダウン中に [+ 1:00]

- タップするたびにカウントダウンの時間が1分追加されます。

◆ ストップウォッチの利用

1 ホーム画面で  → [時計]

2 [ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

3 

計測が開始されます。

ラップを追加：計測中に [ラップ]

計測を一時停止：計測中に 

- 計測を再開する場合は  をタップします。

計測をリセット：計測中または停止中に [リセット]

計測結果を共有：計測停止中に [共有]

電卓

1 ホーム画面で  → [電卓]

2 計算する

入力した数字や記号の消去：[DEL]

数式や計算結果をすべて消去：[DEL] (ロングタッチ) / [CLR]

関数パッドを表示：パッドの右端を左にスライド

- 本端末を横向きにしても関数パッドを表示できません。

✓ **お知らせ** -----

- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。

検索

[Google] アプリを利用して検索します。

- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ Google検索


キーワードを入力してWebサイトを検索します。また、フィードを利用して、今いる場所に関連する情報（天気や交通状況など）を確認することもできます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]

- 初回起動時はフィード使用の確認画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

- 文字を入力して  をタップすると、Webサイトの検索候補が表示されます。

3 検索候補から選択

◆ 音声検索

音声でキーワードを入力してWebサイトを検索できます。

1 ホーム画面で[Google]→[Google]→→送話口/マイクに向かってキーワードを発声

2 Webサイトの検索候補から選択

✓お知らせ-----

- Google検索とフィードの詳細については、Google検索画面の左端を右にフリック→ [ヘルプ] をタップしてヘルプをご確認ください。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ／復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- OSやファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元できない場合があります。

◆ データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で→[データコピー]→[データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
- ご利用の機種やOSにより、通信方法は異なります。
- 対応機種や詳しい使い方は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ microSDカードへのバックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳や画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

❖ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

- 1 ホーム画面で☰→[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [バックアップ]→バックアップするデータにチェックを付ける→[バックアップ開始]→[開始する]
 - 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。
- 3 [トップに戻る]

❖ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

- 1 ホーム画面で☰→[データコピー]→[バックアップ&復元]
- 2 [復元]→復元するデータ種別を[選択]→復元するデータにチェックを付ける→[選択]
- 3 復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]
 - データ種別によっては、復元方法の選択は不要です。
 - 選択したデータが本端末に復元されます。
- 4 [トップに戻る]

❖ 電話帳をドコモのアカウントにコピー

Googleアカウントの連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

- 1 ホーム画面で☰→[データコピー]→[バックアップ&復元]
 - 2 [電話帳アカウントコピー]→コピーする電話帳の[選択]→[上書き]／[追加]
 - コピーした連絡先がdocomoのアカウントに保存されます。
 - 3 [OK]
- ## ◆ データ保管BOXへのバックアップ・復元

データ保管BOXを利用して、通話履歴・音楽のデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- 1 ホーム画面で☰→[データコピー]→☰→[データ保管BOXへバックアップ・復元]
- 2 [バックアップ]または[復元]
 - 画面の指示に従って操作してください。
 - ドコモクラウドへログインしていない場合、確認画面が表示されます。

✓お知らせ

- 画面ロック中や非常用節電モードの作動中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。
- データ保管BOXでの定期バックアップ設定をご利用になる際、パケット通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

本体設定

設定メニュー

設定メニューから各種設定を行います。

1 ホーム画面で → [設定]

12のカテゴリが表示されます（タイル表示）。

- [リスト表示] をタップすると、設定メニューが一覧表示されます。タイル表示に戻すには [タイル表示] をタップします。
- [検索] をタップすると、設定メニューの項目を検索することができます。

カテゴリ	参照	
アプリと音・バイブ	P138	
表示の設定	P137	
電池	P136	
ネットワークとインターネット	Wi-Fi	P127
	モバイルネットワーク	P131
	データ使用量	P132
	テザリング	P133
	VPN	P135
	機内モード	P135

カテゴリ	参照	
機器接続	Bluetooth	P165
	画面／音楽のキャスト	P171
	NFC／おサイフケータイ 設定	P106、P168
	USB	P169
	印刷	P169
セキュリティと位置情報	P118、P142	
Google	P152	
言語と入力	P152	
便利機能	P154	
ドコモのサービス／クラウド	P150	
ユーザー補助	P151	
システム	ストレージ	P157
	ユーザーとアカウント	P157
	動作	P159
	日付と時刻	P160
	バックアップ	P160
	安心データ保存	P160
	リセット オプション	P161
	端末情報	P162

✓お知らせ

- 本端末の利用状況によっては、タイル表示画面上部に [候補] が表示される場合があります。タップすると、リスト表示の一番上に「候補」として設定を促す項目が表示されます。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。


■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。


◆ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

- 1 ホーム画面で  → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi]
- 2 画面右上のボタンをタップして [Wi-Fi] をONにする

3 Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード (セキュリティキー) を入力し、[接続] をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。


✓お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE/3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で  → [設定] → [ドコモのサービス/クラウド] → [dアカウント設定] をタップして操作してください。
- 複数のWi-Fiネットワークを保存している場合、接続先を切り替えるには切り替え先のWi-Fiネットワークを選択し、[接続] をタップしてください。現在接続中のWi-Fiネットワークが切断され、選択したWi-Fiネットワークに自動的に切り替わります。
※ 切断したネットワークの情報は削除されません。接続操作を行うと再接続できます。


◆ Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
- 2 [ネットワークを追加]
- 3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択
 - セキュリティは [なし] [WEP] [WPA/WPA2 PSK] [802.1x EAP] が設定可能です。
- 4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]


◆ Wi-Fiネットワークの接続情報の削除

- 1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
- 2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[削除]

◆ Wi-Fiネットワークのかんたん接続

AOSS™方式、WPS方式に対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
- 2 [Wi-Fi設定]→[かんたん接続]
- 3 登録方式を選択
 - AOSS™方式：[AOSS方式] → [AOSS] ボタンをタップ→アクセスポイント側で操作→接続完了画面で [完了]
 - WPS方式：[WPS方式] → [プッシュボタン方式] / [PIN入力方式 (8桁)] / [PIN入力方式 (4桁)] →アクセスポイント側で操作
 - プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力します。

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式、手動のいずれかで接続してください。

◆ Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器同士で接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリをPlayストアから入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定]→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、[デバイスの検索]をタップします。

3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→[OK]

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、[同意する]をタップしてください。

◆ マルチコネクション

インターネット接続を快適に行うために、Wi-Fiネットワークとパケット通信（LTE／3G）を同時に利用するかを設定します。マルチコネクションをONにすると、動画や音楽などさまざまなコンテンツのダウンロードを高速通信で楽しめるようになります（高速ダウンロード）。

- あらかじめWi-FiをONにしてWi-Fiネットワークに接続してください。→P127

- マルチコネクションは、パケット通信（LTE／3G）も利用するため、パケット通信料がかかる場合があります。パケット通信を利用したくない場合は、マルチコネクションをOFFにしてください。
- アプリによっては、マルチコネクションを利用できない場合があります。
- Wi-Fiネットワークによっては、高速通信にならない場合があります。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定]→[マルチコネクション]にチェック/チェックを外す

✓お知らせ

- 接続するネットワークを判別するサイト（dメニュー→「My docomo（お客様サポート）」内の項目など）では、Wi-Fiご利用時に一部の機能が制限される場合があります。その際は、Wi-FiをOFFにしてご利用ください。
- 次の場合は、マルチコネクションを利用できません。
 - 機内モード中
 - 国際ローミング中
 - テザリング中
 - VPN接続中
 - Wi-Fi Direct／Miracast接続中
- Wi-Fiネットワークが不安定になったとき、Wi-Fiのみに通信を制限する一部のアプリにおいて、一時的にパケット通信（LTE／3G）を行う場合があります。
- マルチコネクションをOFFにすると、高速ダウンロード機能もOFFになります。

- ご契約の料金プランでご利用になれるデータ量を超過し、通信速度の制限を受けている状態では、マルチコネクションは動作しなくなります。

◆ Wi-FiオートON / OFF

モバイルネットワーク基地局の情報を用いて、自動でWi-Fi機能をON/OFFにすることができます。

Wi-FiオートON/OFFをONにすると、Wi-Fi接続したことのあるエリアを検出したときに自動でWi-Fi機能がON、Wi-Fi接続したことのないエリアを検出したときに自動でWi-Fi機能がOFFになります。

1 ホーム画面で**☰**→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定]→[Wi-FiオートON/OFF]にチェック/チェックを外す

✓お知らせ

- 本機能をONにした状態で連続して2分間以上同じアクセスポイントに接続したエリアが、Wi-Fi接続したことのあるエリアとして検出されます。
- 本機能は、機内モードがONまたはWi-FiテザリングがONの場合、動作しません。
- 本機能は、Wi-Fiエリアの情報が変わった場合などに自動で接続できないことがあります。その場合は、手動で接続してください。

◆ Wi-Fi設定

1 ホーム画面で**☰**→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]

2 [Wi-Fi設定]

3 各項目を設定

オープンネットワークの通知：Wi-Fiオープンネットワークが利用可能なとき、通知するかを設定します。

かんたん接続：設定方法→P128

マルチコネクション：設定方法→P129

Wi-FiオートON/OFF：設定方法→P130

Wi-Fi最適化：Wi-FiがONのとき、電池消費量を抑えるようにするかを設定します。

証明書のインストール^{*}：証明書をインストールします。

ネットワーク評価プロバイダ^{*}：よりよいWi-Fiネットワークに接続するために、Wi-Fiネットワークの状態などを評価するプロバイダを設定します。

Wi-Fi Direct^{*}：設定方法→P129

MACアドレス^{*}：MACアドレスが表示されます。

IPアドレス^{*}：IPアドレスが表示されます。

^{*} [詳細設定] をタップすると表示されます。

モバイルネットワーク

モバイルデータ通信に関する設定を行います。

1 ホーム画面で **⌘** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイルネットワーク]

2 各項目を設定

モバイルデータ：設定方法→P131

データローミング：設定方法→P173

データ使用量：モバイルデータ使用量がグラフで表示されます。また、アプリごとのモバイルデータ使用量も確認できます。

通話モード設定*：通話時にVoLTEを有効にするかを設定します。

優先ネットワークタイプ*：設定方法→P174

ネットワークを自動的に選択*：設定方法→P174

ネットワーク*：現在設定されているネットワーク名が表示されます。

アクセスポイント名*：設定方法→P131

* [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ モバイルデータ

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にします。

1 ホーム画面で **⌘** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイルネットワーク]

2 [モバイルデータ] をONにする

◆ アクセスポイント (APN) の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント (spモード) はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/spmode/mopera> U、ビジネスmoperaインターネットをご利用になる際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。

mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

<https://www.mopera.net/>

• デザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P133

◆ 利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面で **⌘** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイルネットワーク] → [詳細設定] → [アクセスポイント名]

APNの一覧画面が表示されます。利用中のアクセスポイントには **○** が表示されています。

◆ アクセスポイントの追加

• MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で **⌘** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイルネットワーク] → [詳細設定] → [アクセスポイント名]

2 [+]

アクセスポイントの編集画面が表示されます。

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→[メニュー]→[保存]

✓お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、お買い上げ時の設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]

2 [メニュー]→[初期設定にリセット]

✓お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントをタップ→アクセスポイントの編集画面で [メニュー] → [APNを削除] をタップすると、アクセスポイントを1件ずつ削除できます。

データ使用量

データ使用量を確認したり、データセーバーを設定したりできます。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[データ使用量]

2 各項目を設定

使用量：「請求期間」で設定した期間のモバイルデータ使用量が表示されます。

データセーバー：アプリのバックグラウンドでのデータ通信を制限します。「データ無制限アクセス」をタップすると、データ通信を制限しないアプリを設定できます。

モバイルデータ：設定方法→P131

モバイルデータ使用：「請求期間」で設定した期間のモバイルデータ使用量がグラフで表示されます。また、アプリごとのモバイルデータ使用量も確認できます。

請求期間：設定方法→P133

Wi-Fiデータ使用量：Wi-Fiデータ使用量がグラフで表示されます。また、アプリごとのWi-Fiデータ使用量も確認できます。

ネットワーク制限：特定のWi-Fiネットワークの利用を制限するように設定できます。

◆ 請求期間の設定

データの請求期間（測定期間）を設定したり、データ使用量の警告値や上限値を設定したりできます。

1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [データ使用量] → [請求期間]

2 各項目を設定

✓お知らせ

- 表示されるデータ使用量は目安です。実際のデータ使用量は「My docomo」で確認できます。
- データ使用量が指定の上限に達したときは、モバイルデータ通信が一時停止中であることをお知らせする画面が表示されます。モバイルデータ通信を再開するには [再開] をタップします。

テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fi、Bluetooth通信で接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能について、認証できない場合やdアカウントによるログインを求められる場合があります。認証できない場合はテザリングを解除してご利用ください。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリが正常に動作しない場合があります。
- テザリングのご利用には、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

◆ USBテザリング

本端末をUSBケーブル A to C 01（別売品）でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 01で接続

USB接続の用途画面が表示されます。

2 [USBテザリング] → [USBテザリング] を ONにする

✓お知らせ-----

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

◆ Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を10台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]をONにする

- Wi-Fiアクセスポイントの設定画面が表示された場合は、必要に応じて設定を変更して【保存】をタップします。→P134

◆ Wi-Fiテザリングの設定

必要に応じて設定を変更します。

- お買い上げ時は、ネットワーク名には [F-04K_AP] が、セキュリティには [WPA2 PSK] が、[パスワード] にはランダムな値が設定されています。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]→[Wi-Fiアクセスポイント]

2 ネットワーク名を入力→セキュリティを選択→パスワードを入力→[保存]

- セキュリティは [WPA2 PSK] が設定できます。

◆ Wi-Fiテザリングかんたん接続

WPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-FiテザリングをONにしてください。

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]→[Wi-Fiテザリングかんたん接続]

2 [プッシュボタン方式]／[PIN入力方式]→各種操作→登録画面で[OK]

- プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、[OK] をタップします。

◆ Bluetoothテザリング

Bluetooth機器をインターネットに接続できます。

- Bluetooth機器を4台まで同時接続できます。
- あらかじめBluetooth機器とのペア設定が必要です。→P166

1 ホーム画面で☰→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Bluetoothテザリング]をONにする

✓お知らせ-----

- Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

VPN (仮想プライベートネットワーク)

VPN (Virtual Private Network : 仮想プライベートネットワーク) は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 認証操作が必要になる場合があります。あらかじめセキュリティ解除方法のパターン、暗証番号、パスワード、指紋認証のいずれかを設定してください。→P144

◆ VPNの追加

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
- 2 [+]→各項目を設定→[保存]

◆ VPNへの接続

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
- 2 接続するVPNを選択
- 3 必要な認証情報を入力→[接続]
 - VPNに接続すると、ステータスバーに \square が表示されます。

◆ VPNの切断

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
- 2 切断するVPNを選択
- 3 [切断]

機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、Miracast、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-Fi、Miracast、Bluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[ネットワークとインターネット]
- 2 [機内モード]をONにする

✓お知らせ

- \square を押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定/解除できます。

電池

電池残量の確認などを行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[電池]

2 各項目を設定

(電池の使用状況)：電池残量、前回のフル充電から電池を使用したアプリや機能を表示します。

前回のフル充電：前回のフル充電から経過したおよその時間を表示します。

フル充電以降の画面の電池使用状況：前回のフル充電から画面が電池を使用したおよその時間を表示します。

バッテリーセーバー：設定方法→P136

明るさの自動調節：[明るさのレベル] で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。

画面消灯時間：設定方法→P137


フル充電以降のアプリの電池使用状況：前回のフル充電から電池を使用したアプリを表示します。


• [メニュー] → [フル充電以降の電池使用状況を表示] / [アプリの使用状況を表示] をタップすると、前回のフル充電からの「端末の電池使用状況」と「アプリの電池使用状況」を切り替えて表示することができます。

フル充電量設定：電池を100%まで充電するか、電池の寿命をより長くするために電池残量85%で充電を停止させるかを設定します。

◆ バッテリーセーバー

バッテリーセーバーを起動/停止します。

• バッテリーセーバーが起動すると、ステータスバーとナビゲーションバーがオレンジ色に変わり、ステータスバーにが表示されます。

1 ホーム画面で→[設定]→[電池]→[バッテリーセーバー]

2 画面右上のボタンをタップして[バッテリーセーバー]をONにする

• [自動的にON] → [使用しない] / [電池残量が5%] / [電池残量が15%] をタップして、バッテリーセーバーが自動的に起動する電池残量を設定できます。

✓お知らせ

• 充電を開始するとバッテリーセーバーの設定は自動的にOFFになります。バッテリーセーバーを利用したいときは、充電完了後にあらためてONにしてください。

◆ 電池の最適化

アプリごとの電池消費を抑えるために、本端末を使用していないときやアプリが数日間使用されていないときにアプリを無効にします。

1 ホーム画面で→[設定]→[電池]

2 [メニュー]→[電池の最適化]

3 [最適化していないアプリ]→[すべてのアプリ]

4 設定を変更するアプリを選択→[最適化する]／[最適化しない]→[完了]

表示の設定

画面の明るさや壁紙など、画面の表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[表示の設定]

2 各項目を設定

明るさのレベル：設定方法→P137

ブルーライトカットモード：画面から発せられる青い光を弱くするかを設定します。日時を指定してブルーライトカットモードをONにすることもできます。

明るさの自動調節：[明るさのレベル] で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調節します。

壁紙：設定方法→P60

画面消灯時間：設定方法→P137

ホーム画面切替：設定方法→P58

画面の自動回転※：本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。

• 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

フォントサイズ※：文字の大きさを変更します。

表示サイズ※：画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。

スクリーンセーバー※：設定方法→P138

詳細カスタマイズ※：設定方法→P56

動画補正※：動画（ワンセグやYouTubeなど）の画質補正をするかを設定します。

• カメラで録画した動画や、ダウンロードなどで microSD カード内に保存した動画も再生時に画質補正されます。

• 動画によっては画質補正されない場合もあります。
静止画補正※：静止画の画質補正をするかを設定します。

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[表示の設定]→[明るさのレベル]

2 スライダーをスライドして明るさを調整

◆ 画面消灯時間

◆ スリープ

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で→[設定]→[表示の設定]→[画面消灯時間]

2 [スリープ]→時間を選択

❖ 持ってる間ON

本端末を手持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかを設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[表示の設定]→[画面消灯時間]
- 2 [持ってる間ON]にチェック/チェックを外す

◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。


- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[表示の設定]→[スクリーンセーバー]
- 2 [現在のスクリーンセーバー]→設定するスクリーンセーバーを選択
- 3 \star →各項目を設定
- 4 [起動するタイミング]→項目を選択
 - [今すぐ起動] をタップすると、スクリーンセーバーが起動します。

アプリと音・バイブ

音量や着信音、マナーモードなど音に関する設定や、アプリに関する設定を行います。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・バイブ]
- 2 各項目を設定
 - メディアの音量：設定方法→P139
 - アラームの音量：設定方法→P139
 - 着信音の音量：設定方法→P139
 - マナーモード：設定方法→P140
 - 着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。
 - マナーモード中は設定できません。
 - チェックを外している場合でも、着信音量を0に設定しているときはバイブレーションが鳴動します。
 - ふせたらサウンドオフ：本端末を裏返すことにより、一時的に着信音やアラームなどの音を停止するかを設定します。ただし、アプリによっては停止しない場合があります。
 - バイブレーションを設定している場合は、一時的に振動も停止します。
 - 充電開始音：充電開始時に音でお知らせするかを設定します。

通知の鳴動制限：[通知の鳴動制限]を[優先する通知のみ]に設定しているときにお知らせする通知の種類を設定します。また、[通知の鳴動制限]を[サイレント]に設定しているときに画面表示やお知らせLEDの点滅、画面の点灯などで通知しないようにするかを設定したり、通知の鳴動制限機能を自動的に起動するルールを設定したりします。

- マナーモード中は設定できません。
- 通知の鳴動制限機能はパネルスイッチ (→P53) で設定できます。ご利用になる場合は、パネルスイッチを表示→→[通知の鳴動制限]をロングタッチしたままドラッグしてパネルスイッチに追加してください。

着信音：電話着信音を設定します。

- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

アプリ情報：設定方法→P140


通知：設定方法→P141

アプリの権限：アプリの権限の設定を変更できます。

デフォルトの通知音*：通知音を設定します。

デフォルトのアラーム音*：アラーム音を設定します。

ダイヤルパッドの操作音*：ダイヤルパッドを操作したときに音を鳴らすかを設定します。

画面ロック音*：を押して画面ロックをかけたときや、画面ロックを解除したときに音を鳴らすかを設定します。

タッチ操作音*：項目などをタップしたときに音を鳴らすかを設定します。

タップ操作時のバイブ*：ナビゲーションバーのアイコンをタップしたときなどに、本端末を振動させるかを設定します。

デフォルト アプリ*：デフォルトで使用するブラウザアプリや電話アプリ、SMSアプリなどを設定します。

特別なアプリアクセス*：本端末の機能や情報にアクセスするアプリの設定を変更できます。


エリアメール*：設定方法→P88

※ [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ 音量

メディア再生音、アラーム音、着信音の音量を調節できます。

- マナーモード中は設定できません。

1 ホーム画面で→[設定]→[アプリと音・バイブ]

2 [メディアの音量]／[アラームの音量]／[着信音の音量]のスライダーをスライドして音量を調節

✓お知らせ-----

- [着信音の音量]を0にすると、バイブレーションがONになります。バイブレーションをOFFにしたい場合は、サイレントマナー (→P140) などに設定してください。

◆ マナーモード

マナーモードを設定／解除します。

- マナーモードの種類は変更できます。→P140

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・パイプ]→[マナーモード]

2 [マナーモード]をONにする

- マナーモードを設定すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P52

✓お知らせ

- 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
 - 音量キーの下を1秒以上押す
 - 通知パネルを開く→パネルスイッチで [マナー]
 - 携帯電話オプションメニューが表示されるまで \square を押し続ける→ [通常マナー]
- ※ 設定しているマナーモードによっては、[サイレントマナー] / [アラームONマナー] をタップします。
- 本端末では、マナーモードの設定に関わらず、シャッター音、撮影開始音／撮影終了音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、カメラ起動中のスクリーンショット音、カメラ起動中のキャプメモ／なぞってコピーのキャプチャ音が鳴ります。

◆ マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・パイプ]→[マナーモード]→[マナーモード選択]

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカから音を鳴らしません。また、バイブレーションがONになります。

サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもOFFになります。

アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

◆ アプリ情報

インストールしたアプリの管理や削除などを行います。

◆ 本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・パイプ]→[アプリ情報]

2 アプリを選択→[権限]

◆ アプリのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・パイプ]→[アプリ情報]

2 アプリを選択→[ストレージ]→[データを消去]／[キャッシュを削除]

- [データを消去] を選択した場合は [OK] をタップします。

❖ アプリの削除

- Playストアから入手したアプリは、Google Play画面から削除することをおすすめします。→P103
- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・バイブ]→[アプリ情報]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

❖ アプリの無効化

アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面やホーム画面などに表示されず、起動もできなくなります。アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・バイブ]→[アプリ情報]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- [無効にする]を選択した場合は [無効にする] をタップします。

✓お知らせ

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

◆ 通知

アプリや機能の通知に関する設定を行います。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[アプリと音・バイブ]→[通知]

2 各項目を設定

アプリの通知：アプリや機能ごとに通知の詳細を設定します。


通知ドットの許可：アイコンにドット（点）を表示してアプリの通知をお知らせするかを設定します。

点滅：お知らせLEDの点滅でアプリの通知をお知らせするかを設定します。

ロック画面の通知：ロック画面にすべての通知を表示するかを設定します。

セキュリティと位置情報

セキュリティに関する設定を行います。

1 ホーム画面で  → [設定] → [セキュリティと位置情報]

2 各項目を設定

Google Play プロテクト：本端末を定期的にスキャンし、セキュリティ上の脅威を確認するかを設定します。

端末を探す：本端末の紛失時にリモートで端末の位置を特定したり、ロックやデータ消去をしたりするかを設定します。

セキュリティ アップデート：ソフトウェアアップデートの更新の有無を確認したり、更新ファイルの自動更新を設定したりします。

セキュリティ解除方法：設定方法→P144

ロック画面の設定*1：設定方法→P145

指紋登録*2：設定方法→P147

指紋管理*2：設定方法→P147

Smart Lock：設定方法→P147

パーソナルノート：設定方法→P148

位置情報：設定方法→P118

パスワードの表示：暗証番号/パスワード入力時に入力した文字を表示するかを設定します。

最近使ったアプリを表示しない：設定方法→P148

端末管理アプリ：端末管理アプリを有効にするかを設定します。

SIMカードロック*3：設定方法→P148

暗号化と認証情報：設定方法→P149

信頼できるエージェント：Smart Lockなどの機能の信頼できるエージェントを管理します。

利用アプリの固定：設定方法→P149

使用履歴にアクセスできるアプリ：端末上のアプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを管理します。

※1 セキュリティ解除方法を [なし] に設定している場合は表示されません。

※2 登録状況により表示される項目は異なります。

※3 ドコモ nanoUIMカードを取り付けていない場合は表示されません。

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できません。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/password/network/>

❖ PINコード

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P148
PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります（PUKロック）。この場合は、「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。

- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖ PINロック解除コード (PUK)

PINロック解除コード (PUK) は、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コード (PUK) はお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コード (PUK) の入力を10回連続して間違えると、ドコモnanoUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモnanoUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモnanoUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖ dアカウント

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケット等のドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID/パスワードです。

❖ Googleアカウント

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

◆ セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティと位置情報]→[セキュリティ解除方法]

2 認証操作

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 項目を選択

- パターン、暗証番号、パスワードを選択した場合は、電源を入れるたびに認証操作を必要とするかを設定します。

なし：ロック画面を表示しないように設定します。

タッチ/スワイプ：タッチ/スワイプでロックを解除するように設定します。

パターン：最低4つの点を結びパターンでロックを解除するように設定します。

暗証番号：暗証番号 (4～16桁の数字) でロックを解除するように設定します。

パスワード：パスワード (英字を含む4～16桁の英数字と記号) でロックを解除するように設定します。


指紋認証：設定方法→P146

4 必要に応じて[セキュリティ解除方法]の ⚙ →各項目を設定

- セキュリティ解除方法の設定により表示される項目は異なります。

パターンを表示する：画面ロック解除時のパターン入力時にパターンを表示するかを設定します。

自動ロック：認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。


電源ボタンですぐにロックする：を押してすぐに画面ロックをかけるかを設定します。画面ロックを解除するには認証操作が必要です。


ロック画面メッセージ：ロック画面に表示するメッセージを入力します。

✓お知らせ

- 認証ストレージを利用中に使用できるセキュリティ解除方法は、パターン、暗証番号、パスワード、指紋認証のいずれかになります。

❖ 画面ロックをかける

セキュリティ解除方法を設定（→P144）した後に、を押してスリープモードにする、または自動的に画面が消灯してから【自動ロック】で設定した時間が経過すると、画面ロックがかかります。

- 画面ロックを解除する場合は、を押してスリープモードを解除し、セキュリティ解除方法の種類に応じて解除操作を行います。

✓お知らせ

- Googleアカウントを設定している場合に、パソコンやタブレットなどからパスワードによるロックを設定することができます。端末紛失時などは次のURLにアクセスし、本端末に設定されているGoogleアカウントでログインしてください。

<https://www.google.com/android/devicemanager>

- 新しいパスワードを本端末に入力することで、画面ロックを解除することができます。

- Googleアカウントでログインしていない場合は操作できません。

❖ 解除方法を忘れたときは


- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合、画面ロックの解除に5回以上失敗すると、一時的に解除の操作ができなくなりますが、一定時間経過後にやり直すことができます。
- セキュリティ解除方法のパターン／暗証番号／パスワードを忘れた場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

✓お知らせ

- 画面ロックを解除しなくても、ロック画面から緊急通報をかけることができます。→P69

◆ ロック画面の設定

ロック画面に関する設定を行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティと位置情報]→[ロック画面の設定]

2 各項目を設定

ロック画面の通知：ロック画面に表示する通知を設定します。

ロック画面からユーザーを追加：ロック画面の通知パネルからゲストやユーザーを追加できるようにするかを設定します。

ロック画面メッセージ：ロック画面に表示するメッセージを入力します。

スライドでカメラ起動：ロック画面の右下にあるカメラアイコンを左にフリックしてカメラを起動するかを設定します。

◆ 指紋認証機能

本端末は、あらかじめ登録した指紋でセキュリティの認証を行う指紋認証機能を搭載しています。

❖ 指紋認証機能利用時の注意事項

- 指紋の特徴情報を利用して認証を行うため、特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指で指紋センサー (👉) に正しく触れた際に指紋が認証される性能)は、お客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を拭く、手を洗う、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていた
 - 汗をかいたりしている
 - 指に汗や脂が多く付着している
 - 泥や油などで指が汚れている
 - 手が荒れていたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
 - 指が極端に乾燥している
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では第三者に本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ解除方法を指紋認証に設定しても、72時間ごとおよび本端末起動時には予備のセキュリティ解除方法で画面ロックを解除する必要があります。予備のセキュリティ解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

❖ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
 - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
 - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
 - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
 - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
 - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
 - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する

- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがあります。その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖ 指紋登録

- 1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [セキュリティと位置情報] → [指紋登録] → [次へ]
 - 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作を行って操作3に進みます。
- 2 予備のセキュリティ解除方法を選択 → 画面の指示に従って設定
- 3 [次へ] → 画面の指示に従って指紋を登録 → [完了]
 - ほかの指を登録する場合は [指紋を追加] をタップし、画面の指示に従って指紋を登録してください。指紋は最大5件まで登録できます。

❖ 指紋認証の操作

- 1 ロック画面で、登録した指で指紋センサー (👉) に触れる
 - 正しく認証されない場合は、指紋登録時に設定した予備のセキュリティ解除方法 (パターン / 暗証番号 / パスワード) で認証操作を行ってください。

❖ 指紋管理

- 1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [セキュリティと位置情報] → [指紋管理] → 認証操作
- 2 各項目を設定
(指紋名) : 登録済みの指紋名が表示されます。タップすると、指紋名を変更したり、指紋を削除したりできます。
指紋を追加 : 指紋を追加します。

❖ Smart Lock

- 外部機器からの接続時や顔認証などで画面ロックを解除する方法について設定します。
- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→ P144

- 1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [セキュリティと位置情報] → [Smart Lock] → 認証操作
- 2 各項目を設定
 - Smart Lockの詳細については、**?** → [ヘルプ] をタップしてヘルプをご覧ください。

◆ パーソナルノート

ID (アカウント) やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容を引用して入力できます。→ P43

- あらかじめ認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→ P144
- 登録した内容を引用するには、Super ATOK ULTIASを使用する必要があります。
- 最大100件登録できます。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティと位置情報]→[パーソナルノート]→認証操作

2 [新規登録]→各項目を設定→[完了]

編集：タイトルをタップ→各項目を編集→[完了]

削除：タイトルをロングタッチ→画面下部の \square までドラッグ→[OK]

並べ替え：タイトルをロングタッチ→移動先までドラッグ

バックアップ／リストア：[メニュー]→[バックアップ／リストア]→項目を選択→画面の指示に従って操作

全件削除：[メニュー]→[全件削除]→[OK]

◆ 最近使ったアプリの表示／非表示

\square (履歴) をタップしたときに、最近使ったアプリを表示するかを設定します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティと位置情報]

2 [最近使ったアプリを表示しない]にチェック／チェックを外す

◆ PINコードの設定

❖ SIMカードロック

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティと位置情報]→[SIMカードロック]

2 [SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]

✓お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。
- 設定を解除するには、操作2で [SIMカードをロック] をOFFにします。

❖ PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定 ([SIMカードをロック] をONにする) しておく必要があります。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[セキュリティと位置情報]→[SIMカードロック]


2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]




5 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

❖ PINコードの入力

- 1 電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→


❖ PINロックの解除

PINコードがロックされた場合（PUKロック）は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- 1 コード入力画面でPINロック解除コード（PUK）を入力→
- 2 新しいPINコードを入力→
- 3 もう一度新しいPINコードを入力→

◆ 暗号化と認証情報






本端末が暗号化されていることを確認したり、認証情報を管理したりします。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティと位置情報]→[暗号化と認証情報]
- 2 各項目を設定
スマートフォンの暗号化：内部ストレージに保存されているシステムデータが暗号化されていることを確認できます。
 - 本端末では [スマートフォンの暗号化] の設定を変更することはできません。ストレージのタイプ：認証情報ストレージのタイプを表示します。
信頼できる認証情報：信頼できる認証情報や証明書を表示します。

ユーザー認証情報：本端末に保存されているユーザー認証情報を管理します。
ストレージからのインストール：認証情報や証明書をインストールします。
認証ストレージの消去：認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

◆ 利用アプリの固定

現在起動しているアプリを固定して、他のアプリを利用できないように設定できます。


- 1 ホーム画面で→[設定]→[セキュリティと位置情報]→[利用アプリの固定]
- 2 画面右上のボタンをタップして[利用アプリの固定]をONにする
- 3 固定したいアプリを起動
- 4  (履歴)→固定したいアプリの→[はい]
 - アプリの固定を解除するには、 (バック) と  (履歴) をロングタッチします。

✓お知らせ

- 操作2で [解除時のセキュリティ認証] をONにすると、アプリの固定を解除するときにセキュリティ解除操作が必要になるように設定できます。

ドコモのサービス／クラウド

ドコモのサービスやクラウドの設定を行います。

1 ホーム画面で  → [設定] → [ドコモのサービス／クラウド]

2 各項目を設定

dアカウント設定：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋認証）を利用したdアカウント認証の設定もできます。

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。

ドコモアプリデータバックアップ：各アプリのデータバックアップ／復元の設定や、データがバックアップされたアプリの一覧を確認できます。

ドコモアプリ管理：ドコモが提供するアプリのアップデートをしたり、定期アップデートの動作や通知方法などを設定します。

おすすめ使い方ヒント：操作や利用状況にあわせて、使いかたのヒントを利用できるように設定します。

オートGPS：オートGPS機能の設定などを行います。

ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。

端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。

会員情報／プロフィール情報設定：ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。

ドコモサービス初期設定：ドコモサービスの設定を一括して行います。

USBデバッグ切替：ドコモショップなどで専用端末を利用するための設定を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✓お知らせ

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加されることがあります。


ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 ホーム画面で  → [設定] → [ユーザー補助]

2 各項目を設定

音量キーのショートカット：音量キーの上と下を同時に約3秒押すことでユーザー補助機能を起動できるようにするかを設定します。また、ショートカットに割り当てるユーザー補助機能を選択できます。

Exluderサービス：Exluder () をなぞることで画面のスクロールや拡大ができるExluderサービスを利用するかを設定します。

おすすめ使い方ヒント：操作や利用状況にあわせて、使いかたのヒントを利用できるように設定します。

テキスト読み上げの出力：テキスト読み上げに関する設定を行います。

フォントサイズ：文字の大きさを変更します。

表示サイズ：画面に表示されるアイコンなどのサイズを拡大／縮小します。


拡大：画面を3回タップすると拡大／縮小するかを設定します。

大きなマウスポインタ：マウス使用時のポインタを大きくするかを設定します。

色反転：色を反転させるかを設定します。

色補正：色補正機能に関する設定をします。

ポインタが停止したらクリック：マウス使用時にポインタが停止したらクリック操作を行うようにするかを設定します。

電源ボタンで通話を終了：  を押すと通話を終了できるようにするかを設定します。

押し続ける時間：ロングタッチを感知する時間を設定します。

モノラル音声：音声をモノラル再生するかを設定します。

字幕：字幕を表示するかを設定したり、字幕の言語や文字の大きさなどを設定します。

高コントラストテキスト：テキストのコントラストを高くするかを設定します。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する、情報や設定の確認／変更／削除などができます。

- Google設定の詳細については、Googleの設定画面で ? をタップしてヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で → [設定] → [Google]

Googleの設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

言語と入力

本端末で使用する言語を変更したり、表示フォントや文字の大きさを変更したりします。

1 ホーム画面で → [設定] → [言語と入力]

2 各項目を設定

言語：設定方法→P153

現在のキーボード：設定方法→P45

仮想キーボード：設定方法→P45、P153

- [キーボードを管理] をタップすると、キーボードの変更画面に表示するキーボードを設定できます。

物理キーボード：本端末にキーボードを接続したときの設定をします。→P47

フォント：設定方法→P153

フォントサイズ：文字の大きさを変更します。

はっきり文字：大きく見やすい文字で表示するかを設定します。

- チェックを付けると、フォント・フォントサイズ・表示サイズの設定がまとめて変更されます。

スペルチェック^{*}：スペルチェックを行うかを設定します。

自動入力サービス^{*}：自動入力サービスを利用するかを設定します。

単語リスト^{*}：スペルチェッカーアプリなどで使われる単語を追加します。

ポインタの速度^{*}：マウスやトラックパッド使用時のポインタの速度を設定します。

テキスト読み上げの出力^{*}：テキスト読み上げに関する設定を行います。

^{*} [詳細設定] をタップすると表示されます。

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 ホーム画面で ☰ →[設定]→[言語と入力]→[言語]

2 [English (United States)]の ☰ を最上段([1]の位置)までドラッグ

✓お知らせ

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
ホーム画面で ☰ →[Settings]→[Languages & input]→[Languages]→[日本語 (日本)]の ☰ を最上段([1]の位置)までドラッグ

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

1 ホーム画面で ☰ →[設定]→[言語と入力]→[フォント]

2 フォントを選択→[OK]

✓お知らせ

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- アプリやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

◆ 音声検索の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 ホーム画面で ☰ →[設定]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Google音声入力]

2 各項目を設定

Languages : Google音声検索時に使用する言語を設定します。

Voice Match : 「OK Google」と発声して音声検索を開始できるように設定します。

ハンズフリー : 端末をロックした状態で、ハンズフリー機器からのリクエストを許可するかを設定します。

音声出力 : 音声出力について設定します。

オフラインの音声認識 : 言語を追加でダウンロードして、オフライン状態でも音声認識を使えるように設定します。

不適切な語句をブロック : 不適切な結果を表示するかを設定します。

Bluetoothヘッドセット : 可能な場合はBluetooth機器を使用して音声検索を行うかを設定します。

便利機能

スライドイン機能や歩数計などの設定を行います。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[便利機能]

2 各項目を設定

電話：設定方法→P75

Exlider設定：設定方法→P154

USB機器の検出：本端末にUSB機器を接続したときにUSB機器を検出します。

手袋タッチ：設定方法→P154

スライドイン機能：設定方法→P155

ナビゲーションバー：設定方法→P155

歩数計：設定方法→P155

イヤホンランチャー：イヤホン接続時に、ランチャーを表示してアプリを起動できるように設定します。

• [ランチャー設定] でランチャーに表示するアプリを設定します。

安心データ保存：設定方法→P160

迷惑メール判定：迷惑メールの可能性がある場合に注意喚起を表示するかを設定したり、電話帳に登録済みの差出人からのSMSをチェックするかを設定したりします。

◆ Exlider設定

Exlider (📄) をなぞることで画面のスクロールや拡大ができます。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[便利機能]→[Exlider設定]

2 [Exliderによる操作]をONにする

3 各項目を設定

- [機能説明] をタップすると、Exliderの使いかたを確認できます。

◆ 手袋タッチ

手袋をしていてもタッチ操作できるように、タッチパネルの感度を上げるかを設定します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[便利機能]

2 [手袋タッチ]にチェック/チェックを外す

✓お知らせ-----

- 手袋の素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
- タッチ操作がしづらい場合は、指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させるように操作してください。
- [手袋タッチ] にチェックを付けた状態で手袋をはめずにタッチ操作を行うと、タッチのしかたによっては意図しない操作が実行される場合があります。

- [手袋タッチ] にチェックを付けた状態で、本端末の画面を点灯させたままポケットやかばんの中に入れると、意図しない操作が実行される場合があります。本端末をポケットなどに入れるときはスリープモードにしてください。

◆ スライドイン機能

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたり、画面を指でなぞって文字をコピーしたりできるように設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[便利機能]→[スライドイン機能]
- 2 [スライドイン機能]をONにする
- 3 各項目を設定
 - [機能説明] をタップすると、スライドインランチャー、キャプメモ、なぞってコピーの使いかたを確認できます。

✓お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

◆ ナビゲーションバー

ナビゲーションバーに表示するアイコン (→P50) を設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[便利機能]→[ナビゲーションバー]
- 2 項目を設定
 - アイコン選択：くっきり表示アイコンまたはスライドディスプレイアイコンをナビゲーションバーに表示するかを設定します。
 - くっきり表示の補正強弱：くっきり表示の補正度を設定します。
 - アイコンの表示位置：アイコンの表示位置を設定します。

◆ 歩数計

歩数のカウントを開始するかを設定します。

- [歩数計利用] をONにすると、歩数情報を利用するアプリやウィジェットが使用できるようになります。
- [ユーザーとアカウント] の [自分からだ設定] で身長と体重を設定すると、より正確な歩数情報が取得できます。→P157

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[便利機能]→[歩数計]
- 2 [歩数計利用]をONにする
 - 全履歴の削除：[歩数計の全履歴削除] → [実行] → [はい]
 - カウント中の歩数も含め、履歴がすべて削除されます。

❖ 歩数計ご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
 - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
 - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
 - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数のカウントが正確に行われないことがあります。
- ユーザーやゲストが利用できる機能を利用している場合、歩数計は同一に扱われます。

✓お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数は約60分ごとに保存されます。ただし、当日カウントされない歩数については、翌日補正されます。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ストレージ

内部ストレージやmicroSDカードの使用状況を確認します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[ストレージ]

2 各項目を設定

内部共有ストレージ：本端末のメモリの使用容量と合計容量、データごとの使用容量を表示します。

SDカード：microSDカードのデータ一覧画面を表示します。 \blacktriangle をタップすると、microSDカードのマウントを解除（認識を解除）して安全に取り外すことができます。microSDカードを認識させるには [SDカード] → [マウント] をタップします。

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

• 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[ストレージ]→[SDカード]

2 [メニュー]→[ストレージの設定]→[フォーマット]

3 [消去してフォーマット]→[完了]

ユーザーとアカウント

本端末を複数のユーザーで共有できるようにしたり、アカウントを追加したりします。また、緊急時に必要な情報やお客様ご自身のプロフィールなどを登録できます。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[ユーザーとアカウント]

2 各項目を設定

ユーザー：設定方法→P158

アカウントを追加：設定方法→P158

緊急時情報：緊急時の初期対応に役立てられる血液型などの情報や、緊急時の連絡先を登録します。

自動的にデータを同期：アカウントのデータの同期を自動で行うかを設定します。

ロック画面からユーザーを追加：ロック画面の通知パネルからゲストやユーザーを追加できるようにするかを設定します。

マイプロフィール：設定方法→P80

自分から設定：健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報の設定を行います。

◆ ユーザー


ユーザーを追加したり、ゲストに切り替えたりします。ユーザーの切り替えやゲストの追加などは、パネルスイッチ（→P53）で行います。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[ユーザーとアカウント]→[ユーザー]


2 各項目を設定

自分 (XXX)：現在使用しているユーザーです。タップするとアイコンやユーザー名を編集できます。

(ユーザー名)：登録済みのユーザー名が表示されます。

- 所有者の使用中にユーザーのをタップすると、ユーザーに電話やSMSの使用を許可するかの設定と、ユーザー削除の操作ができます。


ゲスト：タップすると使用者がゲストに切り替わりません。

- ゲストが使用中の場合は「ゲストを削除」と表示され、タップするとゲストが使用したアプリやデータを削除できます。
- 所有者の使用中にゲストのをタップすると、ゲストに電話の使用を許可するかの設定ができます。

ユーザーを追加：ユーザーを追加登録します。

- ユーザーを追加することに初期設定が必要です。画面の指示に従って設定してください。

✓お知らせ

- 所有者とゲストをあわせて最大5人のユーザーを登録できます。
- ユーザーの使用中にユーザーを削除するには、ホーム画面で→[設定]→[システム]→[ユーザーとアカウント]→[ユーザー]→[メニュー]→[この端末から(ユーザー名)を削除]→[削除]をタップします。
- ユーザーまたはゲストの使用中は、表示される機能が異なったり、アプリや機能の利用が制限されたりします。

◆ アカウント

アカウントの追加や削除を行います。

◆ アカウントの追加

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[ユーザーとアカウント]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→画面の指示に従って操作

アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

✓お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。

❖ アカウントの削除

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[ユーザーとアカウント]
- 2 アカウントを選択→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✓お知らせ

- docomoのアカウントは削除できません。

❖ 手動で同期を開始

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[ユーザーとアカウント]
- 2 アカウントを選択→[アカウントの同期]→[メニュー]→[今すぐ同期]

■ 同期の中止

- 1 同期中に[メニュー]→[同期をキャンセル]

動作

本端末を動かすことによって機能を操作できるように設定します。

- 1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[動作]

2 各項目を設定

カメラの起動： \square を2回押すとカメラを起動するように設定します。ONにすると、どの画面からでもカメラを起動できるようになります。

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

- [日付と時刻の自動設定] / [タイムゾーンを自動設定] のチェックを外すと、日付と時刻、タイムゾーンを手動で設定できます。

1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [システム] → [日付と時刻]

2 各項目を設定

日付と時刻の自動設定：ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正するかを設定します。

タイムゾーンを自動設定：ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正するかを設定します。

日付設定：日付を手動で設定します。

時刻設定：時刻を手動で設定します。

タイムゾーンの選択：タイムゾーンを手動で設定します。

24時間表示：24時間表示にするかを設定します。

バックアップ

アプリのデータや本端末の設定などをGoogleドライブにバックアップするかを設定します。

1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [システム] → [バックアップ]

2 [Googleドライブへのバックアップ]をONにする

3 [アカウント]→バックアップアカウントを選択

安心データ保存

本端末の各種データや設定などをmicroSDカードにバックアップしたり、本端末に復元したりします。

1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [システム] → [安心データ保存]

2 各項目を設定

今すぐバックアップ：本端末のデータを暗号化してmicroSDカードにバックアップします。

定期バックアップ設定：周期と時刻を指定して、定期的にバックアップを行うかを設定します。

バックアップデータ選択：バックアップするデータを選択します。

前回のバックアップ／復元結果：前回のバックアップおよび復元結果を表示します。

データの復元：microSDカードにバックアップしたデータを本端末に復元します。

- 復元を行うと、本端末のデータや設定はバックアップデータに置き換わります。

リセット オプション

本端末のネットワーク設定やアプリの設定をリセットしたり、本端末を初期化したりします。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[リセット オプション]

2 各項目を設定

Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット：Wi-Fi、モバイルデータ通信、Bluetoothの設定をリセットします。

アプリの設定をリセット：アプリの無効化、デフォルトのアプリ、アプリの権限などをリセットします。

すべてのデータを消去（初期状態にリセット）：設定方法→P161

◆ 本端末の初期化

本端末を初期化すると、お客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- microSDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P157

1 ホーム画面で \square →[設定]→[システム]→[リセット オプション]

2 [すべてのデータを消去(初期状態にリセット)]→[モバイル端末をリセット]

- 認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定している場合は、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。


- 初期化中に電源を切らないでください。

✓お知らせ

- 初期化後、タッチ操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で→[設定]→[システム]→[端末情報]

2 項目を確認

ソフトウェアアップデート：設定方法→P188

端末の状態：電池の状態や電池の性能、SIMカード内の情報（ネットワーク名や電話番号など）、IMEI（個別のシリアルナンバー）、アドレスなどを表示します。

法的情報：サードパーティライセンスやGoogle利用規約などに関する詳細を表示します。

認証：認定および準拠マークに関する詳細を表示します。

モデル／Androidバージョン／Androidセキュリティパッチレベル／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリ（/storage/emulated/0/）のフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音


microSDカード（外部ストレージ）

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできません。




- microSDカードについては、「microSDカード」をご覧ください。→P34

ファイル操作


本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動など）ができます。


1 ホーム画面で→[ファイルマネージャー]


2 フォルダ／ファイルをロングタッチ


- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- → [F-04K] / [SDカード] をタップすると、ストレージを切り替えることができます。
- → [新しいウィンドウ] をタップすると、複数のウィンドウを開くことができます。
- → [新しいフォルダ] をタップすると、新しいフォルダを作成できます。

3 目的の操作を行う


コピー：→ [コピー ...] →コピー先を選択→ [ペースト]

移動：→ [移動...] →移動先を選択→ [移動]

圧縮：→ [圧縮]

名前の変更：→ [名前を変更] →名前を入力→ [OK]

削除：→ [OK]

共有：→画面の指示に従って操作

Bluetooth®通信

◆ Bluetooth機能の利用

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✓お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P192
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖ Bluetooth機能取り扱い上のご注意


- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する可能性のある場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。


❖ 無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON / OFF


Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーにが表示されます。
- Bluetooth機能ON / OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

- 1 ホーム画面で→[設定]→[機器接続]
- 2 「Bluetooth」のボタンをタップしてON / OFFを設定


◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。
- プロファイルがHFP / HSP / A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。
- Qualcomm® aptX™ audioを搭載しているBluetooth機器で、aptXオーディオコーデックを利用した音楽再生が可能です。

Qualcomm®
aptX™



- 1 ホーム画面で→[設定]→[機器接続]
- 2 「Bluetooth」のボタンをタップして[Bluetooth]をONにする

- 3 [Bluetooth]→[新しいデバイスとペア設定する]→検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK] / [ペア設定する]


■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合
Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード (PIN) を入力して [OK] / [ペア設定する] をタップしてください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

アルバム-Scene (→P100) や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉アルバム-Sceneのファイルを送信する

- 1 アルバム-Sceneを開いて画像をタップ
- 2 →[送信]→[Bluetooth]→[OK]
 - 画像のサイズを選択する画面が表示された場合は、[縮小なし] / [画像を縮小] → [OK] をタップします。
- 3 Bluetooth機器をタップ
通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→
「着信ファイル」の「承諾」

- 受信したファイルは、通知パネルを開いて「Bluetooth共有：受信したファイル」の通知をタップするか、ホーム画面で \square →[設定]→[機器接続]→[Bluetooth]→[受信済みファイル]をタップしても確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

イヤホンマイクやキーボードなどのBluetooth機器を接続中の場合は、次の操作で接続を解除できます。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[機器接続]→
[Bluetooth]

2 接続中のBluetooth機器をタップ→[OK]

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 ホーム画面で \square →[設定]→[機器接続]

2 「Bluetooth」のボタンをタップして
[Bluetooth]をONにする

3 [Bluetooth]→Bluetooth機器の \odot →[削除]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 ホーム画面で \square →[設定]→[機器接続]

2 「Bluetooth」のボタンをタップして
[Bluetooth]をONにする

3 [Bluetooth]→Bluetooth機器の \odot →機器名
を入力→[OK]

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader／Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。NFCの機能を利用して、他の対応機器とデータのやりとりができます。

- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」をご覧ください。→P107

◆ Androidビーム

Reader／Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- Androidビームを利用するには、あらかじめデータ交換を許可する設定を行っておく必要があります。
- [NFC／おサイフケータイ ロック]を設定している場合は、Androidビームを利用できません。
- アプリによっては、Androidビームをご利用になれません。また、送受信できるデータはアプリによって異なります。
- すべてのReader／Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。


1 ホーム画面で→[設定]→[機器接続]→[NFC／おサイフケータイ 設定]

- パスワード設定画面が表示されたら、パスワードを設定してください。
- [NFC／おサイフケータイ ロック]にチェックが付いている場合は、チェックを外します。

2 [Reader／Writer, P2P]にチェック

3 [Androidビーム]→画面右上のボタンをタップして[Androidビーム]をONにする


❖ 画面に表示したコンテンツの転送

対応端末間で互いのマークをかざすだけで、画面に表示したWebサイトやコンテンツを転送できます。

1 対応端末それぞれのAndroidビーム機能を利用可能に設定

2 送信側の端末で転送するWebサイトやコンテンツを表示

3 対応端末それぞれのマークを重ね合わせる

- 対向機を検知すると通知音が鳴り、送信側の端末の画面が縮小表示され、「タップしてビーム」と表示されます。
- 送信側で共有メニューなどから操作している場合は、マークを重ね合わせるだけで自動的に転送が開始されます。

4 転送する画面をタップ

受信側の端末に、送信側で表示されていた内容が転送されます。

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

USBケーブル A to C 01（別売品）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

1 USBケーブル A to C 01のType-Cプラグを本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to C 01のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む

2 USB接続の用途を選択

この端末を充電する：充電のみ行います。

ファイルを転送する：MTP対応のファイル管理用ソフトウェアで音楽や動画などを転送できます。


写真を転送する（PTP）：MTP非対応のパソコンなどに静止画や動画を転送できます。

この端末をMIDIとして利用する：本端末をMIDI入力に使用します。

USBデザリング：設定方法→P133

3 目的の操作を行う

✓お知らせ


- 本端末でmicroSDカードがマウントされていない場合は、パソコンからmicroSDカードを認識できません。その場合は、ホーム画面で→[設定]→[システム]→[ストレージ]→[SDカード]→[マウント]をタップしてからパソコンに接続します。
- [写真を転送する（PTP）]を選択している場合は、microSDカードを取り外しているときのみ本端末の内部ストレージのデータをパソコンから操作できます。

プリンタとの接続

◆ クラウドプリントでプリンタを接続

Googleクラウドプリント™機能で、パソコンで日常使っているプリンタを接続して、本端末で表示している静止画やブラウザのWebページなどを印刷することができます。また、クラウド対応プリンタの場合は、パソコンなしでインターネット接続してGoogleクラウドプリントのアカウントに関連付けしたプリンタとして接続できます。

- Googleクラウドプリントを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。
- Googleクラウドプリント機能の詳細については、GoogleのホームページでGoogleクラウドプリントのヘルプをご覧ください。

1 ホーム画面で→[設定]→[機器接続]→[印刷]→[クラウドプリント]

2 画面右上のボタンをタップして[クラウド プリント]をONにする

- あらかじめGoogleアカウントでプリンタの接続設定ができていない場合は、印刷時に接続できるプリンタを含むクラウドプリントメニューが表示されます。
- Googleアカウントを設定していない場合は、クラウドプリント画面で [メニュー] → [設定] → [アカウントを追加] をタップしてGoogleアカウントを設定します。
- パソコンの印刷環境で日常使っているプリンタ、またはクラウド対応プリンタの接続設定ができていない場合は、クラウドプリント画面で [メニュー] → [プリンタを追加] をタップして接続を設定してください。

◆ デフォルト印刷サービスでプリンタを接続

デフォルト印刷サービスでは、Mopria[®]認証済みのプリンタを自動的に検出します。プリンタドライバをインストールすることなく、本端末から印刷することができます。

1 ホーム画面で→[設定]→[機器接続]→[印刷]→[デフォルト印刷サービス]

2 画面右上のボタンをタップして[デフォルト印刷サービス]をONにする

Mopria[®]認証済みのプリンタが自動的に検出されます。

- お使いのプリンタが検出されない場合は、[メニュー] → [プリンタを追加] をタップして手動でプリンタを追加してください。

◆ 印刷

〈例〉「Chrome」アプリで表示しているWebサイトを印刷する

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→→[共有...]→[印刷]

接続したプリンタの印刷設定画面が表示されます。

2 各項目を設定

- 部数や用紙サイズなどを設定します。

3 印刷を実行

✓お知らせ-----

- 印刷可能なデータは、使用しているアプリの印刷機能への対応状況により異なります。

その他の機器との接続

◆ Wi-Fi接続でWi-Fi Miracast対応機器に表示

本端末とWi-Fi Miracast対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに動画、画像などを表示します。

1 ホーム画面で \square →[設定]→[機器接続]→[画面/音楽のキャスト]→[ワイヤレスディスプレイの有効化]にチェック

2 検出されたWi-Fi Miracast対応機器をタップ

Wi-Fi Miracast対応機器と切断：接続済みの機器をタップ→[接続を解除]

✓お知らせ

- HDCP非対応の機器と接続した場合、アプリによっては映像・音声为正しく出力されないことがあります。また、コンテンツによっては、コンテンツプロバイダから外部出力を禁止されていたり、性能上の問題から外部出力が抑止されていたりするものがあります。
- 接続中に電話着信があった場合、着信画面が接続した機器にも表示されます。
- 一部のアプリでは、接続した機器にコンテンツが表示され、本端末で再生などの操作ができます。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

国際ローミング (WORLD WING) の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

■ 対応ネットワークについて

- 本端末はLTEネットワーク、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

✓お知らせ

- 国番号/国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号/接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パケット通信*	○	○	○	○

* ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください。→P173

✓お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、電波状態のパネルスイッチ (→P53) をタップして表示される詳細表示で確認できます。

海外でご利用になる前に

◆ 出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願サービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始する必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（→P74）、海外から（→P177）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

[モバイルネットワーク] の [ネットワークを自動的に選択] を ON にしている場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

◆ 海外で利用するための設定

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P131

❖ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定を ON にする必要があります。

- 1 ホーム画面で **電** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイルネットワーク]
- 2 [データローミング] → 注意画面の内容を確認して [OK]

❖ 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイルネットワーク] → [詳細設定]

2 [ネットワークを自動的に選択] をOFFにする

利用可能なネットワークを検索して表示します。

- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、[モバイルデータ] (パケット通信) をOFFにしてから再度実行してください。→P131

3 通信事業者のネットワークを選択

✓お知らせ

- 自動でネットワークを切り替える場合は、操作2で [ネットワークを自動的に選択] をONにしてください。

❖ ネットワークモードの設定

1 ホーム画面で **☰** → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [モバイルネットワーク] → [詳細設定] → [優先ネットワークタイプ]

2 [4G/3G/GSM(自動)] / [3G/GSM] / [GSM]

✓お知らせ

- ネットワークモードを自動的に設定する場合は、操作2で [4G/3G/GSM (自動)] をタップしてください。

❖ 日付と時刻

[日付と時刻] の [日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンを自動設定] にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われなかった場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」 → P160

❖ お問い合わせについて

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国外から他の国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で


2 [ダイヤル]→+([0]をロングタッチ)→[国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号]を入力

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3

ビデオコールをかける：☎→ [ビデオコール]

✓お知らせ-----

- ビデオコールの詳細については、「電話／ビデオコールをかける」をご覧ください。→P68
- [国際ダイヤルアシスト] の [自動変換機能] をONにしている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力→→ [変換後の番号で発信] をタップします。

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で

2 [ダイヤル]→電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3

◆ 滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✓お知らせ-----

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖ 相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で☎→☰→[通話設定]→[海外設定]

2 各項目を設定

ローミング時着信規制：国際ローミング中に着信を規制することができます。

ローミング着信通知：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。

ローミングガイドンス：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイドンスを流すことができます。

国際ダイヤルアシスト：設定方法→P176

ネットワークサービス：設定方法→P177

◆ 国際ダイヤルアシストの設定

1 ホーム画面で☎→☰→[通話設定]→[海外設定]→[国際ダイヤルアシスト]

2 項目を選択

自動変換機能：国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。

国番号：自動変換機能で使用される国番号を選択します。

国際プレフィックス：自動変換機能で使用する国際プレフィックスを選択します。

◆ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ「遠隔操作設定」を開始する必要があります。→P74
- 海外から操作した場合、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で → → [通話設定] → [海外設定] → [ネットワークサービス]

2 サービスを選択

遠隔操作（有料）：遠隔操作を開始するかを設定します。

番号通知お願いサービス（有料）：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。

ローミング着信通知（有料）：→P176

ローミングガイダンス（有料）：→P176

留守番電話サービス（有料）：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申し込みが必要）

転送でんわサービス（有料）：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申し込みが必要）

3 画面の指示に従って操作

4 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されず、接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- [モバイルネットワーク] の [優先ネットワークタイプ] を [4G/3G/GSM（自動）] に設定します。→P174
- [モバイルネットワーク] の [ネットワークを自動的に選択] をONにします。→P174

トラブルシューティング (FAQ)

◆ 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったらときに、お客様ご自身で診断することができます。
詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/>
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P188
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

- **本端末の電源が入らない**
電池切れになっていませんか。→P36
- **画面が動かない／電源が切れない**
 - 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に \square と音量キーの上を同時に8秒以上押し、画面が消灯した後に指を離すと強制的に電源を切ることができます。

- \square と音量キーの上を同時に32秒以上押し、起動画面が表示された後に指を離すと強制的に再起動させることができます。

※ 強制的に電源を切ったり、再起動させたりする操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

● 充電ができない（お知らせLEDが点灯しない、または点滅する）

- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P37
- ACアダプタ（別売品）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P37
- 本端末をパソコンにUSB接続して充電を行っている場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。


■ 端末操作・画面

- **タップしたり、キーを押したりしても動作しない**
 - 電源が切れていませんか。→P38
 - スリープモードになっていませんか。 \square を押して解除してください。→P54
 - [手袋タッチ] にチェックを付けているときに、手袋をした指を垂直に立てて操作すると動作しにくい場合があります。指を寝かせて指の腹をタッチパネルに接触させて操作してください。→P154

● 電池の使用時間が短い

・複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。

- 実行中のアプリを終了→P57

-  (バック) でアプリを終了

・電池の消費を抑える設定などarrowsについてのFAQや便利な使いかたについては、@Fケータイ応援団またはarrows@ (<http://atfe.fmworld.net/at/>) をあわせてご覧ください。

・圏外の状態で長時間放置されるようなことはありません。圏外時は通信可能な状態にできるように電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では機内モードをONにするか、電源を切ってください。→P38、P135

・内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。

・内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

・Wi-Fi機能やBluetooth機能を使用していないときは、OFFに設定してください。→P127、P166

● ドコモnanoUIMカードが認識されない

ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P33

● タッチパネルをタップしたとき/キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話やワンセグの視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● 操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

● 端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

● ディスプレイが暗い

・次の設定を変更していませんか。

- 非常用節電モード→P41

- 画面の明るさ→P137

- スリープ→P137

- バッテリーセーバー→P136

・本端末の温度が高い状態が続く場合は、ディスプレイが暗くなる場合があります。

● ディスプレイがちらつく

[明るさの自動調節] にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P137

● ディスプレイに残像が残る

しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● 時計がずれる


長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の [日付と時刻の自動設定] / [タイムゾーンを自動設定] にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→P160

● 端末動作が不安定

・ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。

次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。

- 電源が入っている状態で、携帯電話オプションメニューが表示されるまで  を押し続ける → [電源を切る] / [再起動] をロングタッチ → [OK]

- 電源を切った状態で  を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えたらすぐに音量キーの下を押し続ける

セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。

※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

※アプリやウィジェットによっては非表示になる場合があります。

● タップしても正しく操作できない

- ・爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ・ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- ・タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作したりしていませんか。
- ・水中で操作していませんか。
- ・指で直接タッチパネルに触れて操作してください。

● 本端末の動作が遅くなった / アプリの動作が不安定になった / 一部のアプリを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→P103、P141

● アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない / エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P141

● データが正常に表示されない / タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P38

■ 通話・音声

● をタップしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P135

● 通話中、相手の声が聞こえにくい / 相手の声が大きすぎる

通話音量を調節してください。また、はっきりボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P71、P72

● **通話ができない（場所を移動しても■の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）**

- ・電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを取り付け直してください。→P33、P38
- ・電波の性質により「圏外ではない」「電波状態は■を表示している」状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- ・着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P75
- ・ネットワークモードの種類（4G／3G／GSM）を変更していませんか。→P174
- ・電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● **着信音が鳴らない**

- ・音量の〔着信音の音量〕を0にしていませんか。→P139
- ・次の機能を起動していませんか。
 - マナーモード→P140
 - 機内モード→P135
- ・着信拒否設定など着信制限を設定していませんか。→P75
- ・次の設定を0秒にしていませんか。
 - 伝言メモ設定の〔着信呼出設定〕→P74
 - 留守番電話サービスの〔呼出時間設定〕→P74
 - 転送でんわサービスの〔呼出時間〕→P74

● **電話が繋がらない**

- ・ドコモnanoUIMカードを正しい向きで取り付けていますか。→P33
- ・市外局番から入力していますか。
- ・機内モードを設定していませんか。→P135

■ **メール**

● **メールを自動で受信しない**

- ・非常用節電モードを設定していませんか。→P41
- ・NX!メールのアカウント設定で受信間隔を〔自動受信を行わない〕に設定していませんか。→P86

● **SMS受信時、通知パネルの通知に返信入力欄が表示されない。**

- 迷惑メール判定機能により迷惑メールである可能性が高いと判断された場合は、通知に返信入力欄が表示されません。→P154

■ **ワンセグ・カメラ**

● **ワンセグの視聴ができない**




- ・地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い所にいませんか。
ワンセグアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P110
- ・視聴場所に合ったチャンネルリストを使用していますか。→P113

● **カメラで撮影した静止画や動画がぼやける**

- ・カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- ・本端末のカメラにはオート撮影機能が搭載されていますが、静止画撮影時はタッチオートフォーカスの機能を利用してもピントを合わせるができます。→P95

■ おサイフケータイ

● おサイフケータイが使えない

- おまかせロックを設定するとステータスバーにまたはが表示され、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- NFC／おサイフケータイ ロックを起動していませんか。→P107
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P105、P107

■ 海外利用

● 海外で、が表示されているのに本端末が使えない WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

● 海外で、が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。
 - ネットワークモードの種類を [4G/3G/GSM (自動)] に変更してください。→P174
 - [モバイルネットワーク] の [ネットワークを自動的に選択] をONに設定してください。→P174
 - 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P38
- ### ● 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった
- 利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング (WORLD WING) のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

● 海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を [規制開始] にしていませんか。→P176

● 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

● 海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P173

■ データ管理

● microSDカードに保存したデータが表示されない

• microSDカードを取り付け直してください。→P35

● データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

● 画像が表示されない

画像データが壊れている場合は、画像が表示されません。ファイルマネージャーアプリなどから開くと、黒い画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

● Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth通信対応機器（市販品）側を検出できる状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には本端末とBluetooth通信対応機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P166、P167

● カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

● オートGPSサービス情報が設定できない


- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。オートGPSの低電力時動作設定により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を「停止しない」に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P36、P150
- 「オートGPS動作設定」にチェックを付けてください。→P150
- GPS機能がOFFになっていませんか。GPS機能がOFFの場合、オートGPSは停止します。→P118

■ その他

● USBマストレージに保存したデータが表示されない

USBマストレージを取り付け直してください。

● 市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない

- 本端末にUSB機器を接続後、次の操作でUSB機器の使用を開始してください。
ホーム画面で → [設定] → [便利機能] → [USB機器の検出] → [USB機器の検出] をタップ
 - Type-C用変換アダプタ（市販品）を使用している場合は、Type-C用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。
- ※ 市販品のすべてを保証するものではありません。
HOST機能（OTG機能）対応と記載があるものをご使用ください。

◆ エラーメッセージ

● 空き容量低下

端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。

設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。端末の空き容量が低下している場合に表示されます。[設定画面] をタップして不要なアプリを削除してください。また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P57、P140

● 指紋ハードウェアは使用できません

指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されず。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

- **全音声サービスがブロックされています／音声サービスがブロックされています／緊急サービスがブロックされています／データサービスがブロックされています**
音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- **PUKコードがロックされています**
ドコモnanoUIMカードのPINロック解除コード (PUK) の入力に10回連続して間違えた場合に表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P144
- **SIMカードが挿入されていません**
ドコモnanoUIMカードが正しく取り付けられているかを確認してください。→P33
- **SIMカードはロックされています**
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P148
- **SIMカードはPUKでロックされています**
ドコモnanoUIMカードがPINロック解除コード (PUK) でロックされているときに表示されます。正しいPINロック解除コード (PUK) を入力してください。→P149

- **SIM card 異常**
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。
ドコモnanoUIMカードのICが汚れなどで正常に読み込めないときや、電源が入っている状態でドコモnanoUIMカードを取り外したときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモnanoUIMカードのICは定期的に清掃してください。また、電源が入っている状態ではドコモnanoUIMカードを取り外さないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- **SD Card 異常**
SDカードが取り外されました。
データの損失を防ぐため、端末の電源を切ってからSDカードを抜いて下さい。
電源が入っている状態ではmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損したり、正常に動作しなくなったりする場合があります。
- **ダウンロード処理中にエラーが発生しました。**
同じ理由のエラーが複数回表示される場合は、本端末を再起動して再度アップデートを実行してください。

あんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定やアプリの使い方、パソコンなどの周辺機器との接続に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモnanoUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- あんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- あんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 あんしん遠隔サポートセンターへ電話

ドコモの携帯電話からの場合：(局番なしの) 15710 (無料)

一般電話などからの場合：☎ 0120-783-360

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

- 本端末からあんしん遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で☎→[遠隔サポート]→[このスマートフォンから発信する]→📞をタップします。

2 ホーム画面で🏠→[遠隔サポート]

3 [遠隔サポートの接続画面に進む]→[同意する]

4 ドコモからご案内する接続番号を入力

5 接続後、遠隔サポートを開始

保証とアフターサービス

◆保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
- ※本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。

■無料修理規定

- 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
- 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - 改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 - 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイおよび外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。

4. 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。

5. 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。

6. ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合。

- ③ 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- ④ 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ⑤ お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
- ⑥ 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却いたします。
- ⑦ 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

<販売元>

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください(→P178)。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/repair/shop/compatible/index.html>

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などをドコモ純正品品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。
銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、ドコモでは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアアップデート

◆ ソフトウェアアップデートについて

ソフトウェアアップデートとは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

■ Android OSバージョンアップ

Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。

■ 新機能追加

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ 品質改善

プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

■ セキュリティパッチの最新化

Google社が公開しているセキュリティパッチ（脆弱性に対処するためのソフトウェア）を適用することで、本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページで [お客様サポート] → [製品・サービスのご利用・ご活用情報] → [製品アップデート情報] → [提供中の製品アップデート情報]

https://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/product_update/list/index.html

◇ ご利用条件

- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、モバイルネットワーク設定でアクセスポイントをspモードもしくはmoperaに設定してください。
- Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、ダウンロードによる通信料金は発生しません。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、ドコモnanoUIMカード未挿入の状態でのWi-Fi接続が必要です。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。

◆ ソフトウェアのアップデートを行う

❖ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。


■ 更新をお知らせする通知から

本端末のステータスバーから [ソフトウェアアップデート提供開始]、[ソフトウェアアップデート開始確認] の通知を選択し、更新を開始します。

■ 更新を促すポップアップから

更新をお知らせしてから一定期間経過後に定期的に表示される [アップデートが利用可能です] のポップアップから [OK] をタップし、更新を開始します。

■ 本体設定から

ホーム画面で  → [設定] → [システム] → [端末情報] → [ソフトウェアアップデート] をタップし、更新を開始します。

※ ソフトウェアアップデートが不要な場合、「アップデートの必要はありません。このままご利用ください。」と表示されます。

❖ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。
詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール


- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に [今すぐ更新] / [後で] の確認画面が表示される場合があります。確認画面が表示された場合は、①、②のいずれかを選択してソフトウェアアップデートを進めてください。

① [今すぐ更新] を選択する

すぐに更新ファイルのダウンロード、もしくはインストールを開始します。

② [後で] を選択する

時間を指定して更新ファイルの予約ダウンロード、予約インストールを開始します。あらかじめ、おすすめの予約時間が指定されます。予約時刻を変更する場合は、[予約時刻変更] をタップ後に予約時刻を指定してください。

※ 後から予約時刻を変更する場合はホーム画面で  → [設定] → [システム] → [端末情報] → [ソフトウェアアップデート] → [予約時刻変更] から予約時刻を設定してください。

2 再起動

更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されません。

※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に [キャンセル] をタップしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が無事に完了すると、本端末のステータスバーに[ソフトウェアアップデート完了]が表示されません。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、[ソフトウェアアップデート完了]を選択すると最新の機能を紹介するページが表示されます。
- 更新の種類がAndroid OSバージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

❖ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデート中は一時的に各種機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアアップデートを行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。

- 以下の場合にはソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 通話中
 - 親機としてテザリングをしているとき
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切らないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■本体

品名	F-04K	
サイズ	高さ約●●mm×幅約●●mm×厚さ約●●mm	
質量	約●●g	
内蔵メモリ	ROM : 32GB* ¹ RAM : 3GB	
連続待受時間* ^{2, 3}	FOMA / 3G	静止時 (自動) : 約●●時間
	GSM	静止時 (自動) : 約●●時間
	LTE	静止時 (自動) : 約●●時間
連続通話時間* ^{3, 4}	FOMA / 3G	約●●分
	GSM	約●●分
	VoLTE (音声通話)	VoLTE : 約●●分 VoLTE (HD+) : 約●●分
ワンセグ連続視聴時間* ⁵	約●●分	
充電時間* ⁶	ACアダプタ 07 : 約●●分 DCアダプタ 05 : 約●●分	
ディスプレイ	種類	TFT
	サイズ	約5.0inch
	発色数	16777216色
	解像度	横720ピクセル×縦1280ピクセル (HD)

撮像素子	種類	アウトカメラ : 裏面照射積層型CMOS インカメラ : 裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ : 1/●●inch インカメラ : 1/●●inch
カメラ有効画素数	アウトカメラ : 約1220万画素 インカメラ : 約500万画素	
カメラ記録画素数 (最大時)	アウトカメラ : 約●●万画素 インカメラ : 約●●万画素	
デジタルズーム	静止画	アウトカメラ : 最大約●●倍 (●●段階)
	動画	アウトカメラ : 最大約●●倍 (●●段階)
静止画記録サイズ	アウトカメラ : 12M 4032×3024 9.1M 4032×2268 Square 1936×1936 3M 2048×1536 FullHD 1920×1080 ケータイメール 640×480* ⁷ インカメラ : 5M 2592×1944 3.7M 2592×1458 Square 1936×1936 3M 2048×1536 FullHD 1920×1080	

動画記録サイズ		アウトカメラ： FullHD 1920×1080 HD 1280×720 ケータイメール 640×480 インカメラ： FullHD 1920×1080 HD 1280×720 ケータイメール 640×480
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 ^{*8}
Bluetooth機能	バージョン	4.2 ^{*9}
	出力	BT5.0 BR/EDR : Power Class ●● BT5.0 LE : Power Class ●●
	対応プロファイル ^{*10}	HFP (●●) ^{*11} 、HSP (●●)、OPP (●●)、SPP (●●)、HID (●●)、A2DP (●●) [*] 12、AVRCP (●●)、PBAP (●●)、PAN (●●) ^{*13} 、HDP (●●)、HOGP (●●)
イヤホンマイクジャック		φ3.5mmイヤホンジャック、4極
表示言語		日本語／英語
入力言語（文字入力）		日本語／英語
入力言語（音声入力）		Google音声検索機能による

- ※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。
使用可能な空き容量については、「ストレージ」をご覧ください。→P157
- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。
- ※3 通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- ※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ※5 ワンセグ連続視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- ※6 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電し、約10分後に電源を入れて充電したときの目安です。高温、低温時に充電すると、充電時間は長くなります。
- ※7 連写モード時のみ設定できません。
- ※8 IEEE802.11nは、2.4GHz/5GHzに対応しています。
- ※9 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※10 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

- ※11 mSBC (16kHz) およびCVSDに対応していません。
- ※12 音声コーデックaptX、SBCに対応しています。
- ※13 PAN-NAP、PANUに対応しています。

■内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	●●V
公称容量	●●mAh

❖本端末で撮影した静止画と動画のファイル形式について

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	.jpg
動画	MP4	.mp4

❖動画の録画時間（目安）

撮影サイズ	動画1件あたりの最大録画時間
FullHD 1920X1080	約●●分

❖本端末で使用できるファイルについて

本端末の「Word」「Excel」「PowerPoint」アプリは、次のファイルの新規作成・閲覧・編集（保存）に対応しています。

種類／拡張子	新規作成	閲覧	編集 (保存)
文書ファイル (Word)	.doc	×	○
	.docx	○	○
表計算ファイル (Excel)	.xls	×	○
	.xlsx	○	○
プレゼンテーション ファイル (PowerPoint)	.ppt	×	○
	.pptx	○	○

携帯電話機の比吸収率 (SAR)

この機種F-04Kの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{※1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR : Specific Absorption Rate) で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は●●W/kg^{※2}、身体に装着した場合のSARの最大値は●●W/kg^{※3}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

富士通のホームページ

<http://www.fmworld.net/product/phone/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) で規定されています。

※2 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Phones

This model F-04K mobile phone complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^{*1} and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is ●● W/kg^{*2} and when worn on the body is ●● W/kg^{*3}. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this mobile phone while operating can be well below that indicated above.

This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. Please keep the mobile phone farther than 1.5 cm away from your body by using such as a carrying case or a wearable accessory without including any metals. This mobile phone satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpaO2-O2.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

FUJITSU LIMITED Website:
<http://www.fmworld.net/product/phone/sar/> (in Japanese only)

- *1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).
- *2 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with LTE/FOMA.

◆ Declaration of Conformity

Trade Mark: Fujitsu
Model Name: F-04K
Hereby, Fujitsu Connected Technologies Ltd. declares that the RE product of "F-04K" is in compliance with RED 2014/53/EU.
The full text of the EU DoC is available at the following internet address:
<https://www.fmworld.net/product/phone/doc/>

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR^{*1} limits^{*2} for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR^{*1} value, when tested for compliance against the standard was 0.69 W/kg^{*3} for HEAD and 1.22 W/kg^{*3} for BODY. While there may be differences between the SAR^{*1} levels of various phones and at

various positions, they all meet^{*4} the EU requirements for RF exposure.

- *1 The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
- *2 The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
- *3 Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave.
- *4 Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
GSM	GSM900	880-915MHz	32.5dBm
	DCS1800	1710- 1785MHz	30.0dBm

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
UMTS	FDD 1	1920- 1980MHz	23.0dBm
LTE	FDD 1	1920- 1980MHz	23.0dBm
	FDD 3	1710- 1785MHz	23.0dBm
WLAN 2.4GHz	IEEE 802.11b	2400- 2483.5MHz	15.5dBm
	IEEE 802.11g	2400- 2483.5MHz	15.5dBm
	IEEE 802.11n	2400- 2483.5MHz	15.5dBm
WLAN 5GHz	IEEE 802.11a	5150- 5350MHz	11.0dBm
		5470- 5725MHz	11.0dBm
	IEEE 802.11n	5150- 5350MHz	11.0dBm
		5470- 5725MHz	11.0dBm
	IEEE 802.11ac	5150- 5350MHz	11.0dBm
		5470- 5725MHz	11.0dBm
Bluetooth	Bluetooth	2400- 2483.5MHz	11.0dBm

Radio type/ Description		Transmitter Frequency	Maximum Output Power
RFID	NFC	13.56MHz	-11dB μ A/ m at 10m

The manufacturer of this product is Fujitsu Connected Technologies Ltd. with its registered place of business at 1-1, Kamikodanaka 4-chome, Nakahara-ku, Kawasaki, Kanagawa 211-8588, Japan.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions :
 - ① this device may not cause harmful interference, and
 - ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves. This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit

established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 1.22 W/kg*, and when worn on the body, is 0.89 W/kg*. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> (please search on FCC ID VQK-FO4K).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

- In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

- * Including other radio systems that can be simultaneously used with cellular radio wave. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
 - Increase the separation between the equipment and receiver.
 - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
 - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

<Prevention of Hearing Loss>

Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.



Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。





実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆ 商標

- 「FOMA」「i モーション」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「WORLD WING」「おサイフケータイ」「かざしてリンク」「iD」「公共モード」「エリアメール」「マチキャラ」「spモード」「Xi」「Xi/クロッシィ」「dメニュー」「dマーケット」「しゃべってコンシェル」「eトリセツ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「あんしんスキャン」「あんしん遠隔サポート」「フォトコレクション」「はなして翻訳」「マイマガジン」「LIVE UX」「スグ電」および「トルカ」ロゴ「おサイフケータイ」ロゴ「iD」ロゴ「エリアメール」ロゴ「dmenu」ロゴ「d

マーケット」ロゴ「しゃべってコンシェル」ロゴ「eトリセツ」ロゴ「あんしんスキャン」ロゴ「あんしん遠隔サポート」ロゴ「フォトコレクション」ロゴ「はなして翻訳」ロゴ「ドコモメール」ロゴ「ドコモデータコピー」ロゴ「ドコモ留守電」ロゴ「ドコモ電話帳」ロゴ「データ保管BOX」ロゴ「スケジュール」ロゴ「メモ」ロゴ「マイマガジン」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイド  モバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび/またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。 
- 🌀はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴは、Facebook, INC.の商標または登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHC 、microSDXC ロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Google、Android、Google Play およびその他のマークはGoogle LLCの商標です。

- Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Qualcomm aptX audio is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States, and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Direct、MiracastはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社パッファローの商標です。 
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2018 All Rights Reserved.
- Microsoft, Windows, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, OneNote, OneDriveは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- MIMOSYSは、PST株式会社の商標登録です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

◆ その他


- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画や i モーション (以下、MPEG-4 Video) を記録する場合
 - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り) を復号するライセンスが許諾されています。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報

については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。

当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で → [設定] → [システム] → [端末情報] → [法的情報] → [サードパーティライセンス] をご参照ください。

オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。

<http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/>


SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 1 他社のSIMカードを取り付ける
- 2 本端末の電源を入れる
- 3 SIMロック解除コードを入力
- 4 [ロック解除]

✓お知らせ-----

- SIMロックの解除状態については、ホーム画面で → [*] [#] [*] [#] [4] [6] [6] [9] [#] [*] [#] [*] をタップするとご確認いただけます。表示の意味は次のとおりです。

SIM ロック：SIMロック状態

SIM ロック解除：SIMロック解除状態

-：ドコモnanoUIMカードなどのSIMカードが未挿入時
／状態不明

索引

ア行

アイコン	50
くっきり表示アイコン	50
ステータスアイコン	51
ステータスバー	51
スライドディスプレイアイコン	50
通知アイコン	51
ナビゲーションバー	50
バックアイコン	50
ホームアイコン	50
履歴アイコン	50
アウトカメラ	31
アカウント	158
削除	159
自動で同期	157
手動で同期	159
設定	158
追加	158
同期の中止	159
明るさの自動調節	136, 137
アクセスポイント	131
確認	131
初期化	132
追加	131
アフターサービス	185
アプリ	140
アンインストール	141
キャッシュを削除	140

削除	141
データを消去	140
無効化	141
アプリアクセス	139
アプリ一覧画面	62
アプリ無効化	65
アンインストール	65
管理	65
並べ替え	65
アプリと音・バイブ	138
アプリの権限	41, 139
アラーム音	139
洗いかた	27
アルバム-Scene	100
静止画表示／動画再生	100
暗号化	149
あんしん遠隔サポート	185
安心データ保存	160
位置情報	
設定	118
位置情報・GPS	117
イヤホンランチャー	154
インカメラ	31
印刷	169
インターネット通話	75
英語ガイドダンス	74
英語表示	153
エラーメッセージ	183
エリアメール	87
後で確認	88
削除	88
受信	88
受信画面および着信音確認	88
受信設定	88

設定	88	Wi-Fi Miracast対応機器に表示	171
着信音	88	外部ストレージ	34, 163
翻訳・アプリ連携設定	88	拡大鏡	54
やさしい日本語表示	88	かざしてリンク対応サービス	104, 106
遠隔操作設定	74, 177	仮想プライベートネットワーク	135
応答拒否SMS	70, 75	カメラ	92
オープンソースソフトウェア	203	インカメラ／アウトカメラの切り替え	94
おサイフケータイ	104	撮影時の注意事項	92
ご利用にあたって	104	静止画撮影	93
ロック設定	107	静止画のオート撮影機能	95
おサイフケータイ対応サービス	104, 105	静止画の撮影設定	95
お知らせLED	31, 49	動画撮影	96
おすすめアプリ	66	動画のオート撮影機能	98
音	138	動画の撮影設定	98
音声検索	122	ハイスピード動画撮影	97
設定	153	パノラマ撮影	94
音声入力	43	ライブオートズーム	97
音量	139	連写撮影	94
音量キー	32	画面消灯時間	137
		画面の明るさ	137
		画面のカスタマイズ	56
		画面の自動回転	137
		画面表示の拡大	57
		画面ロック	
		解除	55
		解除方法の設定	144
		かける	54, 145
		画面ロック音	139
		キーボード	42
		外付けキーボード	47
		手書き入力	42
		テンキーキーボード	42
		QWERTYキーボード	42
		機内モード	135
海外設定	176		
ネットワークサービス (海外)	177		
海外利用	172		
確認事項	172		
帰国後の確認	177		
設定	173		
滞在先で電話を受ける	175		
滞在先で電話をかける	175		
通信サービス	172		
外部機器接続	169		
クラウドプリントでプリンタを接続	169		
デフォルト印刷サービスでプリンタを接続	170		
パソコンとの接続	169		

カ行

キャッチホン	74	受話口	31
キャブメモ	56	仕様	191
緊急時情報	157	商標	201
緊急速報「エリアメール」	87	使用履歴にアクセスできるアプリ	142
近接センサー	31	初期化	161
くっきり表示	54	初期設定	48
言語と入力	152	信頼できるエージェント	142
検索	122	スグ電	75
音声検索	122	スクリーンショット	41
Google検索	122	スクリーンセーバー	138
公共モード（電源OFF）設定	74	スケジュール	119
国際ダイヤルアシスト	176	登録	119
国際電話（WORLD CALL）	70	表示	119
国際ローミング（WORLD WING）	172	ステータスアイコン	51
設定	176	ステータスバー	51
ネットワークサービス	177	ストラップホール	31
サ行			
最近使ったアプリを表示しない	148	ストレージ	157
材質	15	内部共有ストレージ	157
時刻	160	SDカード	157
自動入力サービス	152	スピーカ	31
自分からだ設定	157	スペルチェック	152
自分の電話番号	162	スライド	39
指紋センサー	32	スライドイン機能	55, 155
指紋認証	146	スライドインランチャー	55
登録	147	スライドスポット	55
認証操作	147	スライドディスプレイ	50
充電	36	スリープ	137
充電用アダプタ	37	スリープモード	54
注意事項	36	スロットキャップ	32
パソコン	37	スワイプ	39
ACアダプタ	37	静止画撮影画面	93
充電開始音	138	静止画のオート撮影機能	95
		オートフォーカス	95
		シーン別撮影	95

自動露出調整.....	95	注意事項.....	38
タッチオートフォーカス.....	95	使いかた.....	38
ちらつき調整.....	95	タップ.....	39
ホワイトバランス.....	95	タップ&ペイ.....	106
静止画の撮影設定	95	タップ操作時のパイプ.....	139
位置情報.....	96	ダブルタップ.....	39
グリッド表示.....	96	単語リスト.....	152
撮影サイズ.....	96	端末管理アプリ.....	142
撮影モード.....	95	端末情報.....	162
セルフタイマー.....	96	端末の状態.....	162
タッチ シャッター.....	96	認証.....	162
美肌補正.....	96	法的情報.....	162
フラッシュ.....	96	端末を探す.....	142
保存先.....	96	知的財産権.....	201
露出/WB調整.....	96	着信音.....	139
静止画表示.....	100	着信拒否.....	70
静止画補正.....	137	着信通知.....	74
セキュリティ アップデート.....	142	着信バイブレーション.....	138
セキュリティ解除方法.....	144	通信事業者.....	174
暗証番号.....	144	通知.....	141
指紋認証.....	144	通知アイコン.....	51
タッチ/スワイプ.....	144	通知音.....	139
パスワード.....	144	通知の鳴動制限.....	54, 139
パターン.....	144	通知パネル.....	52
セキュリティと位置情報.....	142	パネルスイッチ.....	52
設定メニュー.....	126	通話モード設定.....	131
送話口.....	31	ディスプレイ.....	31
ソフトウェアアップデート.....	188	縦/横画面表示の自動切り替え.....	41
		データ使用量.....	131, 132
		請求期間.....	133
		データローミング.....	173
		手書き入力.....	42
		テキスト編集.....	46
		テキスト読み上げの出力.....	151, 152

タ行

ダイヤルパッドの操作音.....	139
タスク管理.....	57
タッチ操作音.....	139
タッチパネル.....	31

テザリング.....	133	緊急通報.....	69
かんたん接続.....	134	スグ電設定.....	75
Bluetoothテザリング.....	134	待機を追加.....	68
USBテザリング.....	133	通話音量.....	71
Wi-Fiテザリング.....	134	通話設定.....	74
デフォルト アプリ.....	139	発信者番号通知.....	68, 74
デフォルトのSMSアプリ.....	83	プレフィックス選択.....	68
手袋タッチ.....	154	2秒間の停止を追加.....	68
テレビ.....	109	電話帳	78
終了.....	110	インデックス.....	78
放送波.....	109	インポート.....	80
リンク.....	112	エクスポート.....	80
テンキーキーボード.....	42, 44	お気に入り.....	79
ケータイ入力.....	44	グループ登録.....	79
ジェスチャー入力.....	44	グループの利用.....	79
フリック入力.....	44	検索.....	78
2タッチ入力.....	44	削除.....	79
電源キー.....	32	電話帳リスト.....	78
電源を入れる.....	38	登録.....	78
電源を切る.....	38	プロフィール画面.....	79
伝言メモ.....	74	編集.....	79
設定.....	74	マイプロフィール.....	80
リスト.....	74	動画再生	100
録音.....	70	動画撮影画面	93
ON/OFF.....	74	動画のオート撮影機能	98
転送でんわサービス.....	74	オートフォーカス.....	98
電卓.....	121	ちらつき調整.....	98
電池.....	136	ホワイトバランス.....	98
最適化.....	136	動画の撮影設定	98
充電.....	36	撮影サイズ.....	98
寿命.....	36	撮影モード.....	98
電話.....	68	手ぶれ補正.....	98
受ける.....	70	美肌補正.....	99
かける.....	68	保存先.....	98

ライト	98
露出/WB調整	98
動画補正	137
動作	159
カメラの起動	159
時計	120
アラーム	120
ストップウォッチ	121
世界時計	120
タイマー	120
ドコモデータコピー	123
データ移行	123
データ保管BOXへのバックアップ・復元	124
microSDカードへのバックアップ・復元	123
ドコモのサービス/クラウド	150
オートGPS	150
オープンソースライセンス	150
おすすめ使い方ヒント	150
会員情報/プロフィール情報設定	150
端末エラー情報送信	150
ドコモアプリ管理	150
ドコモアプリデータバックアップ	150
ドコモ位置情報	150
ドコモクラウド	150
ドコモサービス初期設定	150
dアカウント設定	150
USBデバッグ切替	150
ドコモメール	81
ドコモnanoUIMカード	33
暗証番号	34, 143
取り付け	33
取り外し	34
ドラッグ	39
トラブルシューティング	178

トルカ	108
-----	-----

ナ行

内部ストレージ	163
なぞってコピー	56
ナビゲーションバー	50, 155
入力方法の切り替え	45
認証情報	149
ネットワーク	131
ネットワーク暗証番号	143
ネットワークサービス	74
ネットワークモード	174

ハ行

パーソナルノート	148
バイブ	138
背面マイク	31
パスワードの表示	142
はっきり文字	152
バックアップ	
安心データ保存	160
Googleドライブ	160
発信者番号通知	68, 74
発着信履歴	73
バッテリーセーバー	136
パネルスイッチ	53
バン	39
番号通知お願サービス	74
非常用節電モード	41
日付	160
日付と時刻	160
時刻設定	160
タイムゾーンの選択	160

タイムゾーンを自動設定	160
日付設定	160
日付と時刻の自動設定	160
24時間表示	160
ビデオコール	
受ける	70
かける	68
表示サイズ	137
表示の設定	137
ピンチ	39
ファイル操作	164
フォント	153
フォントサイズ	137, 152
ふせたらサウンドオフ	138
ブックマーク	90
削除	90
編集	90
ブッシュ信号	71
物理キーボード	152
フラッシュ	31
ブリインアプリー一覧	63
フリック	39
ブルーライトカットモード	137
フル充電量設定	136
分割画面	58
便利機能	154
ポインタの速度	152
防水／防塵、耐衝撃性能	22
ホームアプリの情報	67
ホーム画面	59
アプリ一覧に戻す	60
アプリ／ウィジェットを削除	60
アプリ無効化	60
カスタマイズ	60

壁紙	60
きせかえ	60
削除	61
追加	61
バックアップと復元	66
フォルダを作成	60
ホーム画面一覧	61
マチキャラ設定	61
ホーム画面切替	58
保証	185
歩数計	155
本体メモリ	163

マ行

マイク	31
マイプロフィール	80
マイマガジン	67
マップ	118
マナーモード	140
アラームONマナー	140
サイレントマナー	140
通常マナー	140
マルチコネクション	129
水抜き	29
迷惑電話ストップサービス	74
迷惑メール判定	154
メール	81, 83, 87
メッセージ	81
文字入力	42
音声入力	43
キーボード	42
設定	45
テキスト編集	46
持ってる間ON	138

モバイルデータ	131
モバイルネットワーク	131

ヤ行

ユーザー	158
ユーザーとアカウント	157
ユーザー補助	151
色反転	151
色補正	151
大きなマウスポインタ	151
押し続ける時間	151
おすすめ使い方ヒント	151
音量キーのショートカット	151
拡大	151
高コントラストテキスト	151
字幕	151
テキスト読み上げの出力	151
電源ボタンで通話を終了	151
表示サイズ	151
フォントサイズ	151
ポインタが停止したらクリック	151
モノラル音声	151
Exluderサービス	151
輸出管理規制	200

ラ行

ライト	31, 54
ララしあコネクト	114
リセット オプション	161
アプリの設定をリセット	161
すべてのデータを消去 (初期状態にリセット)	161
Wi-Fi、モバイル、Bluetoothをリセット	161

利用アプリの固定	149
留守番電話サービス	74
ロック画面	55
設定	145
ユーザーの追加	157
ロングタッチ	39

ワ行

ワンセグ	109
起動	110
ご利用にあたって	109
視聴予約	112
設定	113
チャンネル設定	113
ワンセグ視聴画面	111

英数字・記号

Androidビーム	168
APN	131
Bluetoothアンテナ部	31
Bluetooth通信	165
機能ON/OFF	166
接続	166
接続解除	167
データ送受信	166
名前を変更	167
ペア設定	166
ペアリング解除	167
Bluetoothデザリング	134
Chrome	89
新しいタブを開く	89
印刷	91
画像をダウンロード	90

画面操作.....	89	写真の転送 (PTP)	169
シークレットタブ	89	データ消去.....	157
設定	91	取り付け	35
登録	90	取り外し	36
なぜってコピー.....	91	パソコンから操作.....	169
表示.....	89	ファイル転送.....	169
ブックマーク.....	90	フォーマット.....	157
履歴.....	90	Miracast	171
リンク操作	90	Nearby	54
dアカウント	144	NFC通信	168
dマーケット	102	NFC Type設定	106
dメニュー	102	NFC / おサイフケータイ ロック	107
docomo LIVE UX	59	解除	108
Exlider	32	NX!メール	83
Exlider設定	154	アカウントの設定.....	83, 86
Exliderの使いかた	40	削除	85
FAQ	178	作成 / 送信.....	84
FOMAアンテナ部	31	受信 / 表示.....	84
Gmail	87	全般の設定.....	85
表示	87	転送	84
Google	152	バックアップ / 復元.....	86
Google Play プロテクト	142	フォルダー一覧画面の操作.....	85
Googleアカウント	144	返信	84
Google検索	122	PINコード	143
Googleマップ	118	設定	148
Google Play	102	入力	149
GPSアンテナ部	31	変更	148
HF Player	114	PINロック解除コード (PUK)	144
音楽の再生	115	PINロックの解除	149
プレイリスト.....	116	Playストア	102
dミュージックなどからの購入.....	116	アプリのインストール.....	103
iDアプリ	108	アプリの削除	103
LTEアンテナ部	31	QRコードリーダー	99
microSDカード	34, 163	読み取り	99

QWERTYキーボード.....	42	追加.....	135
RGBセンサー.....	31	Wi-Fi.....	127
SAR.....	194	かんたん接続.....	128
SIMカードロック.....	148	削除.....	128
SIMロック解除.....	203	接続.....	127
Smart Lock.....	147	設定.....	130
SMS.....	81	追加.....	128
削除.....	82	Wi-FiオートON/OFF.....	130
作成.....	81	Wi-Fiアンテナ部.....	31
受信.....	82	Wi-Fiテザリング.....	134
設定.....	83	Wi-Fiテザリングかんたん接続.....	134
送信.....	81	Wi-Fiネットワークのかんたん接続.....	128
転送.....	82	AOSS方式.....	128
表示.....	82	WPS方式.....	128
返信.....	82	Wi-Fi Direct.....	129
Super ATOK ULTIASの設定.....	45	WORLD CALL.....	70
オープンソースライセンス.....	46	WORLD WING.....	172
共通設定.....	46		
初期化.....	46		
操作音・バイブ.....	45		
手書き入力.....	46		
デザイン.....	46		
テンキー.....	45		
変換候補一覧の表示.....	46		
ユーティリティ.....	46		
QWERTYキーボード.....	45		
Super ATOK ULTIAS.....	46		
ULTIASオススメ機能.....	45		
USB機器の検出.....	154		
USBテザリング.....	133		
USB Type-C接続端子.....	31		
VPN.....	135		
接続.....	135		
切断.....	135		

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようになしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P74

電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P75

電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P140

着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P74



モバイルリサイクルショップ
環境にやさしいリサイクル

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー → My docomo (お客様サポート)

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

海外からのお問い合わせ先 (紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

[+]を画面表示 **-81-3-6832-6600** (無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600** (有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間(年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9：00～午後8：00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社



'18.5(1版)
CA92002-9877